

# 病 院 概 要

平成24年度



市 立 砺 波 総 合 病 院

# 市立砺波総合病院憲章

わたくしたちは 市立砺波総合病院の職員であることを  
誇りとし 愛と奉仕の精神のもとに 病気で悩める人々  
を癒すことに互いの心を結集し この憲章を定めます

市立砺波総合病院は

- 1 患者さんの権利を尊重します
- 2 医療の安全を追求します
- 3 信頼される医療を提供します
- 4 職員が働く喜びと誇りの持てる職場をめざします
- 5 健全な病院経営に努めます

## 理 念

地域に開かれ  
地域住民に親しまれ  
信頼される病院



## 『患者さんの権利を守るために』

1. 当院では、病気を克服しようとしておられる患者さんの人権を尊重し、その経済的・社会的地位、年齢、性別、疾病の種類などにかかわらず平等で最良の医療を提供します。
2. 当院では、患者さんと一緒に病気を克服するために、患者さんが既に実施された診療の内容と、これから行われようとする検査、及び治療の目的、方法、内容、危険性、治療の見通し及び、これに代わる他の治療法について十分説明し、さらに患者さんの治療に対する希望もお聞きし、相互の理解を得た上で、医療を行います。
3. 当院では、患者さんの希望があれば原則として、患者さん本人にカルテを開示いたします。また、他の医療機関にかかり意見を求めるためや、他の医療機関に移られるときには全ての情報をお渡しします。
4. 当院では、患者さんのプライバシーを守るために、患者さんの承諾なく当院の医療従事者以外の第三者に患者さんの情報を開示いたしません。
5. 患者さんの権利には義務と責任が伴います。

以上を守り診療することを約束いたします。

# 目 次

第 1 病院の沿革	1
第 2 病院の現況	
1. 平成 24 年度病院運営の基本施策	8
2. 主要許認可指定事項	
(1) 病院開設許可事項	8
(2) 病院使用許可事項	8
(3) 各種指定・認定または申出事項	9
(4) 標榜診療科	10
(5) 施設基準に係る届出事項	10
(6) 保険外併用療養費制度に係る届出事項	12
(7) 各種団体等施設認定状況	13
3. 機構組織図	
(1) 機構図	15
(2) 組織図	16
(3) 委員会組織図	17
(4) 病院内部組織委員会・会議	18
4. 職員数	20
第 3 決算概要	
1. 年度別収支状況	
(1) 収益的収入及び支出	22
(2) 資本的収入及び支出	24
(3) 年度別収支表	25
2. 診療行為別収入の状況	
(1) 診療行為別収入比較表	26
第 4 業務概要	
1. 患者の状況	
(1) 入院・外来別患者数	27
(2) 月別患者数	28
(3) 科別・月別患者数	29
(4) 市町村別年間延患者数	31
(5) 入院（病床種別等）・外来（初診・再診・紹介率等）患者数	32
(6) へき地巡回診療の状況	33

2. 時間外救急患者数	
(1) 科別時間外救急患者数	34
(2) 市町村別時間外救急患者数	35
(3) 来院方法別時間外急患者数	35
3. 手術件数	36
4. 分娩件数	36
5. 内視鏡検査件数	37
6. 人間ドック・健診等の状況	38
7. ヘリコプターによる患者の搬送状況	38
8. 薬剤科の業務状況	39
9. 放射線技術科の業務状況	41
10. 臨床検査科の業務状況	42
11. 病理科の業務状況	42
12. 栄養科の業務状況	43
13. 総合リハビリテーションセンターの業務状況	45
14. 臨床工学科の業務状況	46
15. 輸血センターの業務状況	47
16. 東洋医学科の業務状況	48
17. 医療安全部の業務状況	49
18. 総合相談室の業務状況	49

## 第5 中国黒龍江省医院との医学友好交流の概要

1. 訪日団名簿	50
2. 訪中団名簿	58

第6 病院創立記念日記念講演一覧	63
------------------	----

## 第7 主要施設の概要

1. 施設の概要	65
2. 医療器械の整備状況	66

## 第1 病院の沿革

昭和21年	10月	大井敏雄氏、病院建設の許可申請を厚生大臣に提出
	11月	国の補助事業として建設許可の内示
昭和22年	5月 3日	出町杉木新大井外科医院の施設一切をもって出町厚生病院仮診療所を開設
	12月	細入村にあった工具寮を買収し診療棟及び病棟の移築工事が完成
昭和23年	4月 5日	東砺波郡国保団体連合会出町厚生病院として開設許可を受ける
	12日	開院
	13日	出町中神523番地（現在地）において診療開始 診療科：内科、外科、小児科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科 病床数：一般91床、伝染9床、計100床 職員数：51名
	6月	付属看護婦養成所開設
昭和24年	1月 12日	林村小島に林診療所を開設（昭和28年10月廃止）
	4月	検査室、薬局、医師住宅などの増築工事完成
	4月 2日	インターン実施修練病院の指定を受ける（昭和38年3月取消）
昭和25年	5月	般若村安川に般若診療所開設（昭和42年5月廃止）
昭和26年	6月 19日	太田村に太田診療所開設（昭和30年9月廃止 市に移管する）
	7月	井口村宮後に井口診療所開設（昭和32年3月廃止 井口村に移管する）
	12月	優生保護指定病院となり産婦人科診療棟を増築
昭和27年	4月 1日	町村合併により出町が「砺波町」となったので東砺波郡国民健康保険団体連合会立「砺波厚生病院」と改称
	12月	結核予防法の制定に伴い結核病棟新築50床
昭和28年	1月 14日	構造設備並びに収容定員変更許可 病床数：一般80床、結核76床、伝染19床、計175床
	3月 30日	付属准看護婦養成所の指定を受ける（昭和40年3月医師会へ移管）
	11月 7日	福光町大塚に山田診療所開設（昭和32年3月廃止）
昭和29年	4月 1日	旧砺波市制施行
	8月 30日	使用許可 病床数：一般96床、結核97床、伝染19床、計212床
	12月	医師住宅5戸完成
昭和30年	3月	精神科病棟新築完成、木造一部2階建て54床
	4月 1日	精神神経科新設、精神病院に指定される
	5月 1日	開設許可 病床数：一般95床、結核98床、精神54床、伝染19床、計266床
	12月 7日	歯科新設
昭和31年	3月 31日	町村合併から国保団体も大幅にうつりかわり東砺波郡国保団体連合会を解散
	4月 1日	砺波市に移管 砺波厚生病院の名称のまま砺波市立の病院となる 内科、外科、小児科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、精神神経科、歯科 一般95床、結核98床、精神54床、伝染19床、計266床、職員154名
	5月	増築の結核病棟完成50床
	6月	使用許可 一般95床、結核148床、精神54床、伝染19床、計316床
昭和32年	2月 1日	伝染病棟20床完成 砺波市に移管
	6月	皮膚泌尿器科新設 計9科
	7月 1日	総合病院の認可を受ける
	7月 25日	収容定員変更許可 病床数：一般101床、結核121床、精神54床、伝染20床、計296床

昭和32年	12月	精神科病棟の増築工事完成 29床 看護婦宿舎および准看護婦養成所新築工事完成 砺波市井栗谷に梅檀山診療所開設（昭和39年10月廃止）
昭和33年	2月20日	収容定員変更許可 病床数：一般101床、結核121床、精神83床、伝染20床、計325床
	4月	整形外科新設 計10科 創立10周年記念式典
	9月	大井敏雄院長、砺波市長に就任
	11月1日	水木正雄副院長 院長に就任 大井敏雄、名誉院長となる
昭和34年	9月1日	結核病棟21床を改装し一般病棟に転用 収容定員変更許可 病床数：一般118床、結核100床、精神83床、伝染20床、計321床
昭和35年	5月	診療科目変更 内科より分離 呼吸器科新設
	12月	一般病床の不足とともに施設の老朽化が激しく、2か年継続事業として診療棟増築を決定し、この増築用地1,672㎡を取得
昭和36年	4月	准看護養成所を准看護学院と改称
	12月25日	初のコンクリート3階建の診療棟増築工事完成
昭和37年	1月6日	使用及び収容定員変更許可 病床数：一般158床、結核100床、精神83床、伝染20床、計361床 職員154名
	3月	精神病棟12床増床、病床数373床となる
	6月1日	名称変更 砺波市立砺波厚生病院と改称 住居表示の変により所在地を砺波市新富町1番61号に変更
昭和38年	4月	公営企業法財務規定等を適用
	12月5日	精神科病棟増築 収容定員変更許可 病床数：一般158床、結核100床、精神120床、伝染20床、計398床
昭和39年	4月	累積赤字解消のため再建団体の指定を受ける。（昭和41年4月指定除外）
	8月	救急告示病院に認定される
昭和40年	3月20日	結核病棟焼失
	3月31日	附属准看護学院指定取消（県医師会立砺波准看護学院設立）
	4月22日	収容定員減床許可 病床数：一般158床、結核85床、精神120床、伝染20床、計383床
昭和41年	4月	再建団体の指定除外される
	7月	皮膚泌尿科を皮膚科及び泌尿器科に分離
	9月	病棟及び管理棟改築工事のため既存木造建物の移動始まる
昭和42年	2月	病棟及び管理棟改築工事着工
	4月	管理職を除く職員組合結成
昭和43年	5月20日	病棟および管理棟改築工事完成 使用許可 病床数：一般170床、結核65床、精神120床、伝染20床、計375床
昭和44年	5月	組合運営による県下初の保育所開設
昭和45年		財政状態再び悪化
昭和48年	4月	県下初の形成外科開設（院内標榜）
	6月10日	人工透析開始
	9月	精神科病棟改築工事着工（66床）

昭和49年	11月	精神科病棟改築工事完成 麻酔科新設
昭和50年	1月	脳神経外科新設
	8月	厚生省認可により形成外科が標榜科となる
	8月23日	特室2床増築開設許可 病床数：一般172床、結核65床、精神120床、伝染20床、計377床
昭和51年	5月	放射線科新設、診療を週1回で開始
	9月11日	手術部門の整備を図るため中央診療棟増築工事着工
昭和52年	7月14日	内部の変更施設許可 病床数：一般217床、結核35床、精神120床、伝染20床、計392床
	7月30日	中央診療棟増築工事完成
	8月	胃腸科新設
昭和54年	3月	医師住宅用地1,535㎡取得
	6月	県下初の全身用CTが導入
	9月1日	小林長院長就任、水木正雄名誉院長となる
	11月	医師住宅5戸完成
昭和55年	5月	砺波市医学友好訪中団が訪中
	9月	病棟・外来棟増築工事マスタープランを自治病施設センター委託
	10月31日	中国黒龍江省医院と医学友好の合意書を取りかわし研修生の相互派遣を始める
昭和56年	3月	起債許可決定
	4月1日	名称変更 市立砺波総合病院と改称 病院増改築始まる
	8月4日	開設許可（一般病床139床増床、結核病床15床減床許可） 病床数：一般356床、結核20床、精神120床、伝染20床、計516床
	10月	病棟・外来棟増築工事着工
昭和57年	4月1日	第二次救急医療対策として病院群輪番事業を開始
	12月	病棟完成（現在の北病棟） 使用許可 病床数：一般224床、結核20床、精神120床、伝染20床、計384床
昭和58年	4月	病棟管理棟改修工事完了 使用許可 病床数：一般309床、結核20床、精神120床、伝染20床、計469床
	9月10日	病棟・外来棟増改築工事竣工式典挙行
	9月11日	中国黒龍江省医院と医学友好交流合意書について更新調印する
昭和59年	4月1日	1-2病棟47床稼働始める
	8月1日	県下初の夕食午後6時配膳を実施
	11月29日	伝染病棟新築工事、精神病棟減床、開設許可 病床数：一般356床、結核20床、精神66床、伝染10床、計452床
昭和60年	2月15日	伝染病棟新築工事完成
	4月1日	伝染病棟使用許可（5室10床）
昭和61年	5月23日	開設許可（結核20床を一般病床に転床） 病床数：一般376床、精神66床、伝染10床、計452床
	7月1日	一般病棟20床使用許可
昭和62年	3月	レセプト業務電算化システム開発完了
	4月1日	用度在庫管理業務電算化稼働
	4月	病院将来構想委員会発足
	5月5日	中国黒龍江省医院と医学友好交流合意書について更新調印する
	5月26日	オンライン開通式（カード型診察券導入）



昭和62年	6月		入院レセプト作成業務開始
	6月	15日	開設許可事項変更許可（2階手術部の増改築）
	7月		外来レセプト作成業務開始
	7月		手術部増改築工事着工
	10月		放射線治療・核医学棟整備マスタープランを自治病施設センターに委託
	11月		温食食器の導入
	11月		手術部増改築工事竣工
昭和63年	1月	18日	手術部増改築部分の使用許可
	3月		放射線治療、核医学棟マスタープラン完成
	4月		選択メニューの試行
平成元年	4月	12日	オアシス文庫開設
	5月	12日	選択メニュー開始
	8月	1日	開設許可事項変更許可（核医学棟の増築、既存施設の用途変更）
	8月	4日	放射線治療、核医学棟整備工事着工
平成2年	3月		地域医療室発足
	4月	12日	病院創立記念日制定、記念式典・オアシス落語・記念講演開催
	10月	31日	中国黒龍江省医院との医学友好交流10周年記念行事を挙行 放射線発生装置の使用許可
	12月	7日	核医学棟増築部分の使用許可
	2月	17日	新整形外科オープン
平成3年	3月	22日	開設許可事項変更許可（医局の一部→会議室等）
	3月	27日	新中央診療棟竣工
	5月	15日	平成3年度全国自治体優良病院受賞
	9月		中央診療棟改修工事・更衣室棟新築工事着工
	10月		中央診療棟改修工事竣工 管理棟改修工事・厚生棟新築工事着工
	12月		更衣室棟・厚生棟工事着工
平成4年	1月		保育室新築工事着工
	3月		管理棟改修工事（新第3病棟）、保育室竣工
	3月	30日	開設許可事項変更許可（一般病棟（34床）の増床、事務室の用途変更） 病床数：一般410床、精神66床、伝染10床、計486床
	5月	20日	自治大臣表彰受賞
平成5年	4月		新医事システム電算化事業スタート（自己導入） 診療報酬点数表甲表採用
	9月		処方オーダーリングシステムスタート
	12月		検査オーダーリングシステムスタート
平成6年	3月		病院経営診断報告
	8月		病院東側に職員駐車場（160台）完成
	10月	20日	看護支援システムスタート 注射オーダーリングシステムスタート 流域下水道施設へ一部開通
平成7年	1月	31日	～ 阪神大震災医療救護班第1班活動（灘区、西灘保育所）8名
	2月		再来受付システムスタート
	2月	27日	～ 阪神大震災医療救護班第2班活動（灘区、西灘保育所）5名
	4月	1日	荒川龍夫院長就任、小林長名誉院長となる
	10月	1日	三診療部長任命

平成 8年	4 月 1 日	神経内科、呼吸器外科新設
	7 月 1 日	へき地中核病院の指定
	7 月 25 日	へき地巡回診療始まる
	9 月 3 日	富山県総合防災訓練
	11 月 29 日	災害拠点病院（地域災害医療センター）の指定
平成 9年	4 月 1 日	地域周産期母子医療センターの認定
平成10年	4 月 1 日	総合相談窓口の開設
	4 月 8 日	創立50周年記念行事
	7 月 1 日	砺波市歯科保健センター設置
平成11年	3 月 31 日	開設許可事項変更許可（伝染病棟（10床）から感染症棟（4床）の減床） 病床数：一般410床、精神66床、感染症4床、計480床
	4 月 1 日	北野喜行院長就任
	8 月 24 日	中国黒龍江省医院と医学友好交流合意書について更新調印する（於 哈尔滨）
	8 月 31 日	病院増改築工事のため西側駐車場使用不可
	8 月	病院増改築工事（第1期工事）
	9 月 1 日	砺波被害者支援相談室（こころの窓）を開設
	9 月 2 日	病院増改築工事 起工式
	10 月 1 日	三副院長制施行
	10 月 4 日	市45周年記念式典にて小林名誉院長、荒川前院長が保健衛生功労表彰受賞
	10 月 6 日	開設許可事項変更許可（一般病棟（65床）の増床、病棟の増築及び用途変更） 病床数：一般475床、精神66床、感染症4床、計545床
	12 月 3 日	病院東側駐車場増設竣工
	12 月 20 日	2000年問題による停電を想定した総合模擬訓練実施(Y2K)
	平成12年	1 月 1 日
4 月 1 日		介護保険制度施行 診療情報開示
6 月 25 日		第1回病院モニター会議
8 月 1 日		臨床研修病院指定申請
平成13年	8 月 7 日	落雷により約2時間の停電（病院内、気中開閉器に落雷）
	3 月 30 日	臨床研修病院指定通知
	4 月 1 日	循環器科、心臓血管外科、こう門科、リハビリテーション科新設（胃腸科を消化器科に）
	4 月 2 日	新カルテ方式導入
	5 月 22 日	開設許可事項変更許可（構造設備一部変更、診療科増設による名称変更） 病床数：一般475床、精神66床、感染症4床、計545床
	6 月 2 日	第2回病院モニター会議
	6 月 10 日	西棟竣工式及び見学会
	6 月 18 日	西棟B 1～2 F オープン
	7 月 1 日	西棟 3～7 F オープン 緩和ケア病床6床設置
	7 月 2 日	第2次第Ⅰ期オーダーリングシステムスタート 院外処方開始
	8 月 30 日	砺波救急医療大規模訓練
	9 月 28 日	中国黒龍江省医院医学友好交流20周年の夕べ
	10 月 1 日	病棟名の変更（北棟、南棟、管理棟） 第1病棟、中央診療棟の解体工事始まる
	10 月 31 日	日本医療機能評価（病院機能評価）機構予備審査受審
	12 月	東棟工事着工

平成14年	1月9日	飛行場（屋上ヘリポート）設置許可 航空灯火（屋上ヘリポート）設置許可
	1月29日	日本医療機能評価（病院機能評価）機構本審査受審
	3月18日	日本医療機能評価（病院機能評価）機構認定（複合病院種別B：一般・精神）
	4月1日	地域救命センター指定（ICU 6床、HCU 12床）
	4月13日	中国黒龍江省医院と医学友好交流合意書について更新調印する（於 砺波）
	7月1日	第2次第Ⅱ期オーダーリングシステムスタート
	7月6日	第3回病院モニター会議
平成15年	4月1日	小杉光世院長就任、北野喜行参与となる
	6月10日	東棟竣工式
	6月16日	SARS訓練（新型肺炎対応連携訓練）
	6月23日	東棟外来部門オープン
	6月30日	東棟病棟部門オープン
	7月1日	開設許可事項変更許可（精神22床減 結核5床新設） 病床数：一般475床、精神44床、感染症4床、結核5床、計528床
	8月27日	第4回病院モニター会議 飛行場（屋上ヘリポート）完成検査合格
	8月28日	航空灯火（屋上ヘリポート）完成検査合格
	9月5日	屋上ヘリポート（非公共用）供用開始
	12月5日	病院ボランティア「りんどうの会」発足
平成16年	3月	北棟、外来棟完成
	4月	新医師臨床研修制度による研修医採用
	4月5日	市50周年記念式典にて北野前院長、石崎前看護部長が保健衛生功労表彰受賞
	6月	管理棟改修完了
	8月	南棟改修完了
	10月2日	病院増改築事業竣工式
	10月25日	第5回病院モニター会議
	10月31日	砺波市・庄川町の合併に伴う医療機関の廃止
	11月1日	新砺波市誕生 開設許可事項変更許可（開設主体を新市に変更 一般14床減） 病床数：一般461床、精神44床、感染4床、結核5床、計514床
	平成17年	5月6日
8月25日		中国黒龍江省医院と医学友好交流合意書について更新調印する（於 哈尔滨）
10月1日		西側駐車場の整備・有料化
10月6日		緩和ケア外来 開始
11月14日		院内保育所 給食開始
平成18年	2月1日	緩和ケア病床を6床から8床へ
	4月1日	杉本立甫院長就任
	12月1日	モラル・ハラスメント相談窓口を設置
平成19年	1月31日	地域がん診療連携拠点病院 指定
	2月19日	日本医療機能評価（病院機能評価）認定更新審査（Ver. 5.0）⇒認定
	4月1日	臨床研修看護師制度スタート
	7月2日	化学療法室 稼働
	8月6日	女性骨盤底再建センター 稼働
平成20年	3月3日	肝疾患診療連携拠点病院に選定
	4月22日	中国黒龍江省医院と医学友好交流合意書について更新調印する（於 砺波）

平成20年	5月13日	自治体4病院災害時医療救護活動相互応援協定締結
	9月	R I 標識抗体療法を開始
平成21年	1月14日	第1回市立砺波総合病院改革プラン検討委員会
	2月18日	第2回市立砺波総合病院改革プラン検討委員会
	3月1日	肝疾患市民公開講座
	3月9日	第3回市立砺波総合病院改革プラン検討委員会
	3月18日	市立砺波総合病院改革プラン策定
	3月31日	X線フィルムレスの稼働
	4月1日	診療支援管理室稼働
	4月	がん診療部設置 D P C 開始
	10月1日	地域総合診療科稼働
	11月2日	腹腔鏡下前立腺全摘術の導入
	11月11日	平成21年度市立砺波総合病院改革プラン検討委員会
	12月	前立腺密封小線源治療室稼働 全身用X線C T装置更新
平成22年	2月28日	肝疾患市民公開講座
	3月7日	中部ブロックDMA T実働訓練の実施
	3月	発熱外来診察室稼働
	4月	院内感染対策室稼働
	9月13日	富山県が設置する精神科病院に代わる施設の指定 (精神保健及び精神障害者福祉に関する法律法律第19条の8の規定に基づくもの)
	11月11日	平成22年度市立砺波総合病院改革プラン検討委員会
	11月25日	難病医療協力病院の指定
平成23年	4月	がん相談支援センター稼働
	4月2日～	東北地方太平洋沖地震 富山県医療救護班(第5次)活動(岩手県釜石市)4名 (その他各方面からの派遣要請により職員派遣)
	4月27日～	集団食中毒による腸管出血性大腸菌感染症患者の診療(入院・外来含む63名)
	8月	禁煙外来の開始
	9月1日	中国黒龍江省医院と医学友好交流合意書について更新調印する(於 哈尔滨)
	11月28日	平成23年度市立砺波総合病院改革プラン検討委員会
平成24年	1月8日	電子カルテシステム更新
	2月1日～	日本医療機能評価(病院機能評価)認定更新審査(Ver.6.0) ⇒認定
	4月1日	伊東正太郎院長就任
	4月1日	保安員として元警察官を雇用
	6月12日	災害医療派遣チーム(富山県DMA T)指定病院の指定
	10月25日	開設許可事項変更許可(旧精神病棟解体、仮設棟着手)
	11月16日	平成24年度市立砺波総合病院改革プラン検討委員会
	11月30日	新型インフルエンザ対策実地訓練の実施
平成25年	3月18日	仮設棟使用開始、南棟解体着手

## 第2 病院の現況

### 1. 平成24年度 市立砺波総合病院運営の基本施策

当院は「地域に開かれ、地域住民に親しまれ、信頼される病院」を基本理念に高度先進急性期医療・小児医療・周産期医療・精神医療・老人医療・へき地医療・リハビリテーション・救急医療・在宅医療及び保健と福祉の連携をはかり、医療の質的な充実向上に努めている。そこで、平成24年度は次の基本施策を掲げ事業を行った。

#### 1. 患者さんの権利の尊重

- ・患者さんの権利に関する医療従事者の意識を向上させ、わかりやすい説明と患者さん及びご家族等と医療従事者の合意による意思決定に努め、患者さん本人が求める医療サービスを提供します。

#### 2. 医療の安全性の確保

- ・エビデンス（科学的な根拠）に基づいた安心・安全な医療サービスの継続的な提供に努めます。

#### 3. 信頼される医療の提供

- ・専門医や専門医を目指す臨床研修医の確保及び育成に努めます。
- ・地域医療機関との機能分担と連携体制を促進し、地域完結型医療を目指します。
- ・医療従事者の研修等を充実し、資質の向上やチーム医療の推進、医療の質の向上に努めます。

#### 4. 働く喜びと誇りの持てる職場の推進

- ・医療従事者としての誇りと自覚を持てるよう、研修や自主研究等を推進し、資質の向上に取り組みます。
- ・医師事務作業等の軽減化等を含めたワーク・ライフ・バランスの改善に努めます。
- ・子育て等に関して女性職員が働き続けることができる環境整備に努めます。

#### 5. 健全な病院経営の推進

- ・病院改革プラン事業計画の実施・点検・評価・公表を行い、健全経営の維持に努めます。
- ・病院目標を踏まえた診療科及び部門の行動計画策定と検証を実施します。

### 2. 主要許認可指定事項

#### (1) 病院開設許可事項（医療法第7条第4項の規定による許可）

開設許可月日 平成16年11月1日 許可番号 富山県指令医第30221号

平成25年3月31日現在 開設許可病床数

（変更許可年月日 平成16年11月1日 変更許可番号 富山県指令医第30221号）

一般病床461床、精神病床44床、感染症病床4床、結核病床5床、計514床

#### (2) 病院使用許可事項（医療法第27条の規定による許可）

平成25年3月31日現在 使用許可病床数

（使用許可年月日 平成16年11月1日 使用許可番号 富山県指令医第30224号）

一般病床461床、精神病床44床、感染症病床4床、結核病床5床、計514床

**(3) 各種指定・認定または申出事項**

各種指定・認定または申出の内容	指定・認定・申出年月日	備考（根拠法令、指定・認定番号等）
総合病院の承認	昭和32年 7月 1日	医療法
保険医療機関の指定	昭和32年 7月31日	健康保険法
原子爆弾被爆者一般疾病医療機関	昭和35年 8月 1日	原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律
性病予防法指定病院	昭和42年 2月 4日	
労災保険指定医療機関	昭和43年 7月 1日	労働者災害補償保険法施行規則
児童福祉施設（助産施設）の指定	昭和43年 7月 1日	児童福祉法
放射線発生装置の使用承認	平成 2年10月31日	2安（放安）第7381号
子宮癌検診精密検診医療機関	平成 6年 4月 1日	
へき地中核病院の指定	平成 8年 7月 1日	富山県医第761号
災害拠点病院指定	平成 8年11月29日	医第1257号
地域周産期母子医療センター認定	平成 9年 4月 1日	富山県健第464号
性感染症定点医療機関（皮膚科）	平成11年 4月 1日	
第二種感染症指定医療機関	平成11年 4月 1日	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
指定居宅介護支援事業者	平成11年10月 7日	富山県指令高第1040号
生活保護法による指定介護機関	平成12年 3月 1日	介護保険法 富山県指令第139号
臨床研修病院指定	平成13年 3月30日	厚生労働省発 医政第274号の3
地域救命センター指定	平成14年 4月 1日	富山県医 第341号
へき地医療拠点病院指定	平成15年 4月 1日	富山県医 第729号
救急病院の指定（告示病床16床）	平成16年11月 1日	救急病院等を定める省令
生活保護法に基づく指定医療機関	平成16年11月 1日	富山県指令第672号
結核予防法に基づく指定医療機関	平成16年11月 1日	富山県指令健第5110号
養育医療機関の指定	平成16年11月 1日	母子保健法
更生医療指定医療機関（整形外科）	平成16年11月 1日	身相 第13号
更生医療指定医療機関（形成外科）	平成16年11月 1日	身相 第13号
更生医療指定医療機関（心臓脈管外科）	平成16年11月 1日	身相 第13号
更生医療指定医療機関（腎臓）	平成16年11月 1日	身相 第13号
更生医療指定医療機関（免疫）	平成16年11月 1日	身相 第13号
給食施設の指定	平成16年11月 1日	健康増進法
特定給食施設の指定	平成16年11月 1日	健康増進法
臨床研修病院指定（歯科）	平成17年 4月 1日	厚生労働省発 医政第0401001号
性感染症定点医療機関（産婦人科）	平成18年 1月 1日	富山県健 第1560号
地域がん診療連携拠点病院指定	平成19年 1月31日	厚生労働省発 健第0131004号
肝疾患診療連携拠点病院選定	平成20年 3月 3日	富山県健 第116号
指定自立支援医療機関（肝臓）	平成22年 4月 1日	富山県指令身相第1067号
災害医療派遣チーム（富山県DMAT）指定病院	平成24年 6月12日	第8号

#### (4) 標榜診療科

内科 精神科 神経内科 呼吸器科 消化器科 循環器科 小児科 外科 整形外科 形成外科  
 脳神経外科 呼吸器外科 心臓血管外科 皮膚科 泌尿器科 こう門科 産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科  
 放射線科 麻酔科 リハビリテーション科 歯科口腔外科 計 23科

#### 院内標榜診療科

内科 神経内科 呼吸器科 消化器科 循環器科 内分泌内科 腎高血圧内科 地域総合診療科  
 血液内科 東洋医学科 精神科 小児科 外科 整形外科 形成外科 脳神経外科 呼吸器外科  
 心臓血管外科 大腸肛門科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 女性骨盤底再建センター  
 リハビリテーション科 放射線科 核医学科 放射線治療科 歯科口腔外科 麻酔・ペインクリニック  
 緩和ケア科 内視鏡センター 人工透析センター 口唇口蓋裂センター 病理科 検査科 化学療法室  
 ICU 救急科 へき地診療科 計 41科

#### (5) 施設基準に係る届出事項等

##### 基本診療料

(平成25年 3月31日現在)

項目	受理番号	算定開始年月日
1 地域歯科診療支援病院歯科初診料	(病初診) 第2号	平成22年4月1日
2 一般病棟入院基本料 7対1入院基本料	(一般入院) 第6号	平成24年4月1日
3 結核病棟入院基本料 7対1入院基本料	(結核入院) 第2号	平成19年12月1日
4 精神病棟入院基本料 13対1入院基本料	(精神入院) 第3号	平成23年7月1日
5 臨床研修病院入院診療加算 基幹型	(臨床研修) 第19号	平成22年4月1日
6 臨床研修病院入院診療加算 (歯科) 単独型	(臨床研修) 第29号	平成24年4月1日
7 救急医療管理加算	(救急加算) 第23号	平成22年4月1日
8 超急性期脳卒中加算	(超急性期) 第7号	平成20年4月1日
9 妊産婦緊急搬送入院加算	(妊産婦) 第7号	平成20年4月1日
10 診療録管理体制加算	(診療録) 第1号	平成12年4月1日
11 医師事務作業補助体制加算 50対1補助体制加算	(事務補助) 第33号	平成23年9月1日
12 急性期看護補助体制加算 50対1急性期看護補助体制加算	(急性看護) 第42号	平成24年10月1日
13 看護補助加算 2	(看護) 第35号	平成19年10月1日
14 療養環境加算	(療) 第33号	平成15年7月1日
15 重症者等療養環境特別加算	(重) 第72号	平成14年8月1日
16 無菌治療室管理加算 1	(無菌1) 第4号	平成25年1月1日
17 無菌治療室管理加算 2	(無菌2) 第4号	平成25年1月1日
18 精神病棟入院時医学管理加算	(精入学) 第9号	平成15年7月1日
19 精神科身体合併症管理加算	(精合併加算) 第13号	平成20年4月1日
20 がん診療連携拠点病院加算	(がん拠点) 第7号	平成19年3月1日
21 栄養サポートチーム加算	(栄養チ) 第6号	平成22年5月1日
22 医療安全対策加算 1	(医療安全) 第34号	平成23年3月1日
23 感染防止対策加算 1、感染防止対策地域連携加算	(感染防止1) 第5号	平成24年5月1日
24 患者サポート体制充実加算	(患サポ) 第23号	平成24年5月1日
25 ハイリスク妊娠管理加算	(ハイ妊娠) 第8号	平成20年4月1日
26 ハイリスク分娩管理加算	(ハイ分娩) 第8号	平成18年4月1日
27 退院調整加算	(退院) 第28号	平成24年4月1日
28 救急搬送患者地域連携紹介加算	(救急紹介) 第12号	平成24年4月1日
29 救急搬送患者地域連携受入加算	(救急受入) 第53号	平成24年4月1日
30 精神科救急搬送患者地域連携受入加算	(精救急受入) 第14号	平成24年4月1日
31 総合評価加算	(総合評価) 第18号	平成24年5月1日
32 呼吸ケアチーム加算	(呼吸チ) 第4号	平成23年8月1日
33 データ提出加算 2	(データ提) 第40号	平成24年10月1日
34 地域歯科診療支援病院入院加算	(地歯入院) 第3号	平成20年4月1日
35 小児入院医療管理料 4	(小入4) 第4号	平成17年3月1日
36 亜急性期入院医療管理料	(亜) 第12号	平成23年4月1日

特掲診療料

	項目	受理番号	算定開始年月日
1	がん性疼痛緩和指導管理料	(がん疼) 第42号	平成24年4月1日
2	糖尿病透析予防指導管理料	(糖防管) 第20号	平成24年8月1日
3	小児科外来診療料	(小外) 第42号	平成9年4月1日
4	院内トリアージ実施料	(トリ) 第13号	平成25年2月1日
5	夜間休日救急搬送医学管理料	(夜救管) 第9号	平成24年4月1日
6	外来リハビリテーション診療料	(リハ診) 第16号	平成24年4月1日
7	ニコチン依存症管理料	(ニコ) 第144号	平成23年8月1日
8	開放型病院共同指導料	(開) 第12号	平成14年3月1日
9	地域連携診療計画管理料	(地連携) 第61号	平成24年11月1日
10	ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)	(ハイⅠ) 第31号	平成18年9月1日
11	がん治療連携計画策定料	(がん計) 第9号	平成24年2月1日
12	がん治療連携管理料	(がん管) 第6号	平成24年4月1日
13	肝炎インターフェロン治療計画料	(肝炎) 第8号	平成22年4月1日
14	薬剤管理指導料	(薬) 第19号	平成22年6月1日
15	医療機器安全管理料 1	(機安1) 第10号	平成20年4月1日
16	医療機器安全管理料 2	(機安2) 第3号	平成20年4月1日
17	歯科治療総合医療管理料	(医管) 第14号	平成20年4月1日
18	造血器腫瘍遺伝子検査	(血) 第4号	平成12年4月1日
19	HPV核酸検出	(HPV) 第2号	平成22年4月1日
20	検体検査管理加算(Ⅳ)	(検Ⅳ) 第5号	平成23年5月1日
21	植込型心電図検査	(植心電) 第1号	平成22年4月1日
22	コンタクトレンズ検査料 1	(コン1) 第55号	平成20年4月1日
23	小児食物アレルギー負荷検査	(小検) 第4号	平成18年4月1日
24	内服・点滴誘発試験	(誘発) 第2号	平成22年4月1日
25	センチネルリンパ節生検	(セ) 第2号	平成22年4月1日
26	画像診断管理加算 2	(画2) 第1号	平成14年4月1日
27	CT撮影及びMRI撮影	(C・M) 第98号	平成22年6月1日
28	冠動脈CT撮影加算	(冠動C) 第8号	平成22年1月1日
29	心臓MRI撮影加算	(心臓M) 第10号	平成22年4月1日
30	抗悪性腫瘍剤処方管理加算	(抗悪処方) 第4号	平成22年4月1日
31	外来化学療法加算 1	(外化1) 第6号	平成20年4月1日
32	無菌製剤処理料	(菌) 第10号	平成20年4月1日
33	心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)、初期加算	(心Ⅰ) 第8号	平成22年6月1日
34	脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)、初期加算	(脳Ⅰ) 第9号	平成18年4月1日
35	運動器リハビリテーション料(Ⅰ)、初期加算	(運Ⅰ) 第31号	平成22年4月1日
36	呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)、初期加算	(呼Ⅰ) 第18号	平成18年4月1日
37	がん患者リハビリテーション料	(がんリハ) 第6号	平成24年9月1日
38	医療保護入院等診療料	(医療保護) 第11号	平成16年4月1日
39	透析液水質確保加算 2	(透析水2) 第17号	平成25年2月1日
40	悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	(黒セ) 第1号	平成22年4月1日
41	乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及び 2	(乳セ) 第2号	平成22年4月1日
42	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	(ペ) 第15号	平成10年4月1日
43	植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術	(植心) 第1号	平成22年4月1日
44	大動脈バルーンパンピング法 (IABP法)	(大) 第8号	平成10年4月1日
45	体外衝撃波腎・尿管結石破砕術	(腎) 第2号	平成1年11月1日
46	膀胱水圧拡張術	(膀胱) 第3号	平成22年7月1日
47	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	(腹前) 第1号	平成21年11月1日



48	医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6 (歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術 ・頭蓋内腫瘍摘出術等 ・黄斑下手術等 ・鼓室形成手術等 ・肺悪性腫瘍手術等 ・経皮的カテーテル心筋焼灼術 ・靭帯断裂形成手術等 ・水頭症手術等 ・鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等 ・尿道形成手術等 ・角膜移植術 ・肝切除術等 ・子宮附属器悪性腫瘍手術等 ・上顎骨形成術等 ・上顎骨悪性腫瘍手術等 ・バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉) ・母指化手術等 ・内反足手術等 ・食道切除再建術等 ・同種死体腎移植術等 ・人工関節置換術 ・1歳未満の乳児に対する先天性食道閉鎖症根治手術等に関する施設基準 ・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 ・冠動脈、大動脈バイパス移植術及び体外循環を要する手術 ・経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈粥腫切除術及び経皮的冠動脈ステント留置術	(通手)第20号	平成21年4月1日
49	輸血管管理料 I	(輸血 I)第7号	平成24年4月1日
50	輸血適正使用加算	(輸適)第11号	平成24年4月1日
51	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	(造設前)第8号	平成24年4月1日
52	麻酔管理料(I)	(麻管 I)第12号	平成8年4月1日
53	放射線治療専任加算	(放専)第5号	平成14年5月1日
54	外来放射線治療加算	(外放)第4号	平成18年2月1日
55	高エネルギー放射線治療	(高放)第16号	平成23年4月1日
56	病理診断管理加算 1	(病理診 1)第6号	平成24年4月1日
57	クラウン・ブリッジ維持管理料	(補管)第446号	平成10年5月1日

入院時食事療養・入院時生活療養等

項目	受理番号	算定開始年月日
1 入院時食事療養 (I)	(食)第75号	平成4年4月1日

## (6) 保険外併用療養費制度に係る届出事項

選定療養

(平成25年 3月31日現在)

項目	算定開始年月日
1 特別の療養環境の提供(特別室)	平成16年4月1日
2 一般病床200床以上病院の未紹介患者の初診	平成14年4月1日
3 180日を越える入院	平成16年4月1日

## (7)各種団体等施設認定状況

平成25年3月31日現在

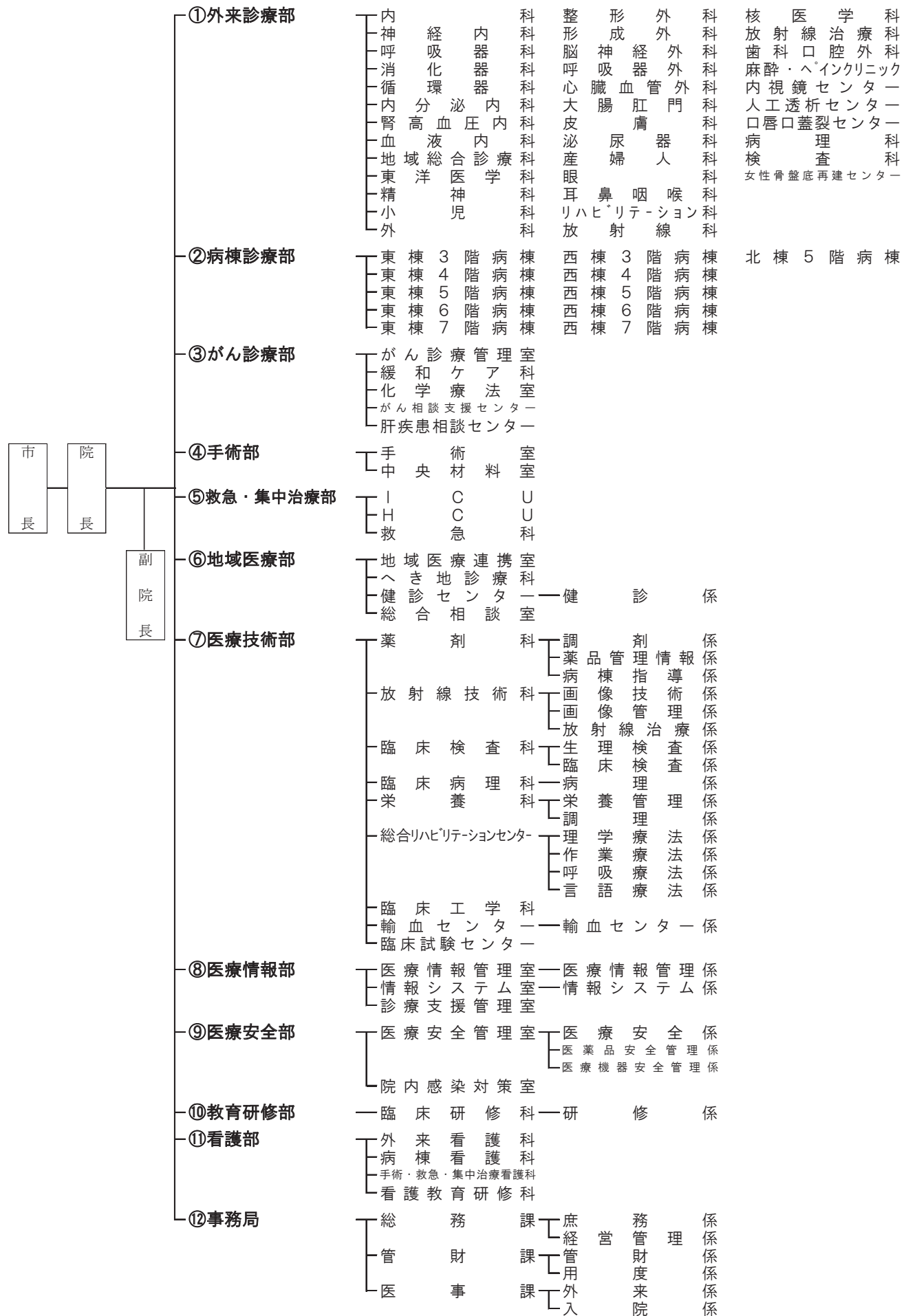
認定事項	認定団体	認定番号
日本血液学会認定血液研修施設	日本血液学会	認定番号 第183012号
日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設	日本循環器学会	施設番号 第0583号
日本内科学会認定医制度教育病院	日本内科学会	認定番号 第740号
日本気管食道科学会認定気管食道科専門医研修施設	日本気管食道科学会	認定第64号
日本消化器病学会専門医制度認定施設	日本消化器病学会	認定第18009号
日本東洋医学会研修施設	日本東洋医学会	指定番号 第5306号
日本消化器内視鏡学会認定指導施設	日本消化器内視鏡学会	認定第19028号
日本小児科学会小児科専門医制度研修施設	日本小児科学会	登録番号 第4012号
日本栄養療法推進協議会N S T稼動施設	日本栄養療法推進協議会	施設番号 00100221
日本静脈経腸栄養学会N S T稼動施設	日本静脈経腸栄養学会	施設番号 02-00391
日本外科学会外科専門医制度修練施設	日本外科学会	指定番号 第160012号
日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設	日本精神神経学会	-
日本消化器外科学会専門医修練施設	日本消化器外科学会	認定番号 16003
日本乳癌学会関連施設	日本乳癌学会	認定番号 第4010-06号
日本整形外科学会専門医研修施設	日本整形外科学会	認定番号 富山県 第0011号
日本形成外科学会認定医研修施設	日本形成外科学会	第85-508A号
日本大腸肛門病学会専門医修練施設	日本大腸肛門病学会	-
日本皮膚科学会認定専門医研修施設	日本皮膚科学会	認定番号 第1225号
日本泌尿器科学会専門医教育施設	日本泌尿器科学会	認定番号 第86048835号
日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設	日本産科婦人科学会	指定番号 第190006号
日本眼科学会専門医制度研修施設	日本眼科学会	認定第3042号
日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設	日本耳鼻咽喉科学会	認可番号16006号
日本リハビリテーション医学会研修施設	日本リハビリテーション医学会	認定番号 第115442号
日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関 核医学	日本医学放射線学会	認定番号 修410
日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関 I V R	日本医学放射線学会	認定番号 修410
日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関 画像診断	日本医学放射線学会	認定番号 修410
日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関 放射線治療	日本医学放射線学会	認定番号 修410
日本放射線腫瘍学会認定協力施設	日本放射線腫瘍学会	認定協力施設203
日本ペインクリニック学会専門医研修施設	日本ペインクリニック学会	第190077号
日本顎関節学会認定研修機関	日本顎関節学会	第4号

認定事項	認定団体	認定番号
日本口腔外科学会専門医制度研修機関	日本口腔外科学会	第3059号
日本病理学会認定病院B	日本病理学会	認定番号 第4056号
日本臨床細胞学会教育研修施設設定	日本臨床細胞学会	施設認定 第0448号
日本臨床細胞学会教育研修施設設定	日本臨床細胞学会	施設認定 第0168号
日本救急医学会救急科専門医指定施設	日本救急医学会	認定番号 第0274号
向精神薬試験研究施設設置者	富山県知事	第15-2号
日本医療薬学会認定薬剤師制度研修施設	日本医療薬学会	研修施設 第08-03-0038号
薬剤師実務研修受入施設	日本薬剤師研修センター	登録番号 K10-16-002
外国人医師臨床修練指定病院 消化器疾患	厚生労働省	厚生省収健政策 第20号
歯科医師臨床研修施設指定	厚生労働省	医政発第0401001号
日本医療機能評価機構 審査体制区分4 (Ver.6.0)	日本医療機能評価機構	認定第MB42-3号
臨床研修病院指定	厚生労働省	厚生労働省発医政第103005号 施設番号030323
日本静脈経腸栄養学会NST専門療法士実地修練認定教育施設	日本静脈経腸栄養学会	施設番号 10721412
日本がん治療認定医機構 認定研修施設	日本がん治療認定医機構	登録番号 第20606号
地域包括医療・ケア認定施設	全国国民健康保険診療施設協議会 全国自治体病院協議会	認定施設番号 第000010号
日本肝臓学会認定施設	日本肝臓学会	認定施設番号 第414号
日本IVR学会専門医修練施設	日本インターベンショナルラジオロジー学会	認定施設番号 第231号
日本周産期・新生児医学会暫定研修施設	日本周産期・新生児医学会	認定番号 NC18008号
日本病態栄養学会認定栄養管理・NST実施施設	日本病態栄養学会	認定番号 第10-024
日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設	日本医療薬学会	第10-0228号
医療法に基づく麻酔科標榜のための研修施設である麻酔科認定病院	日本麻酔科学会	認定第355号
日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練場所	日本脳神経外科学会	認定番号 第C-1453号

### 3. 機構組織図

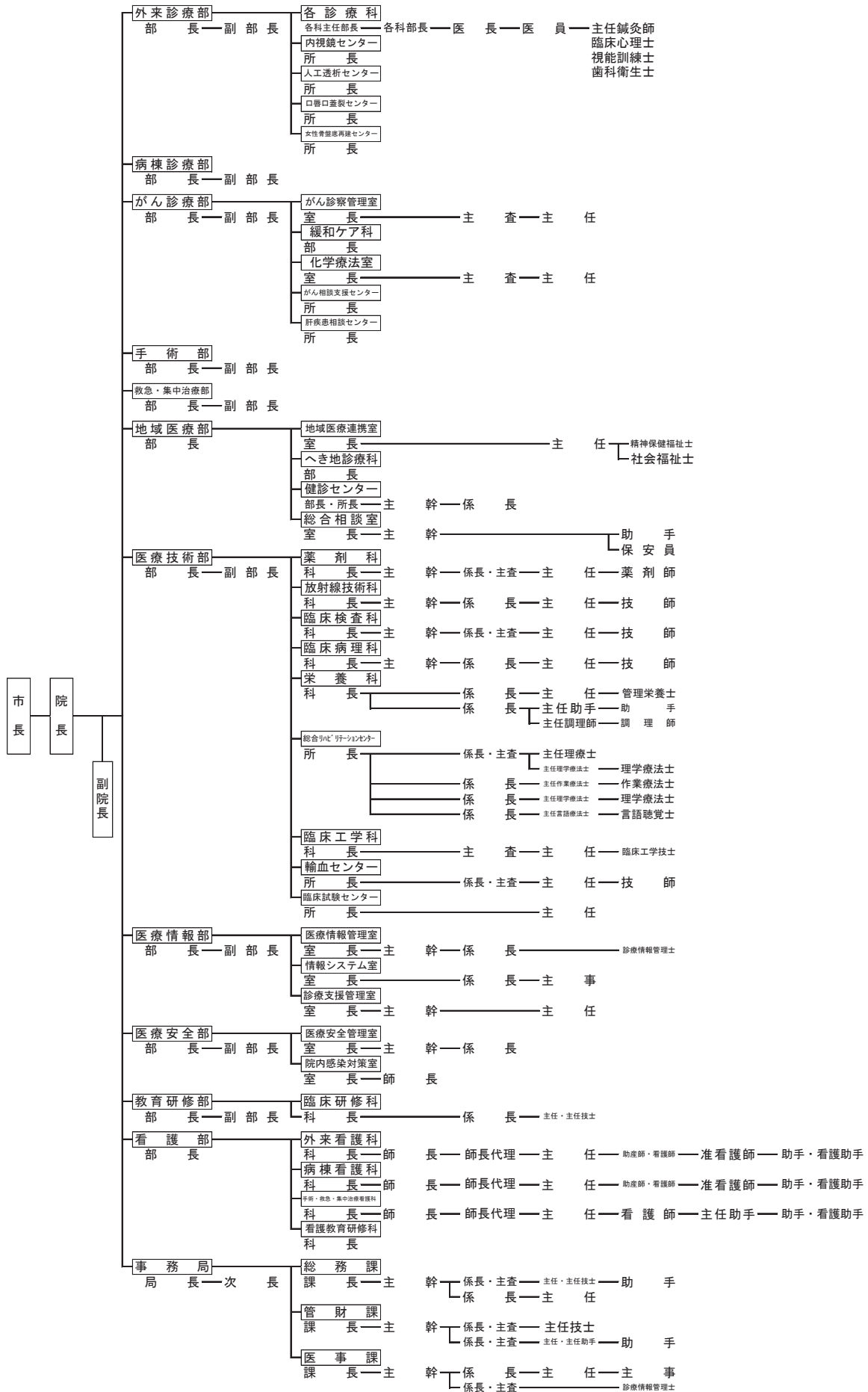
平成25年3月31日現在

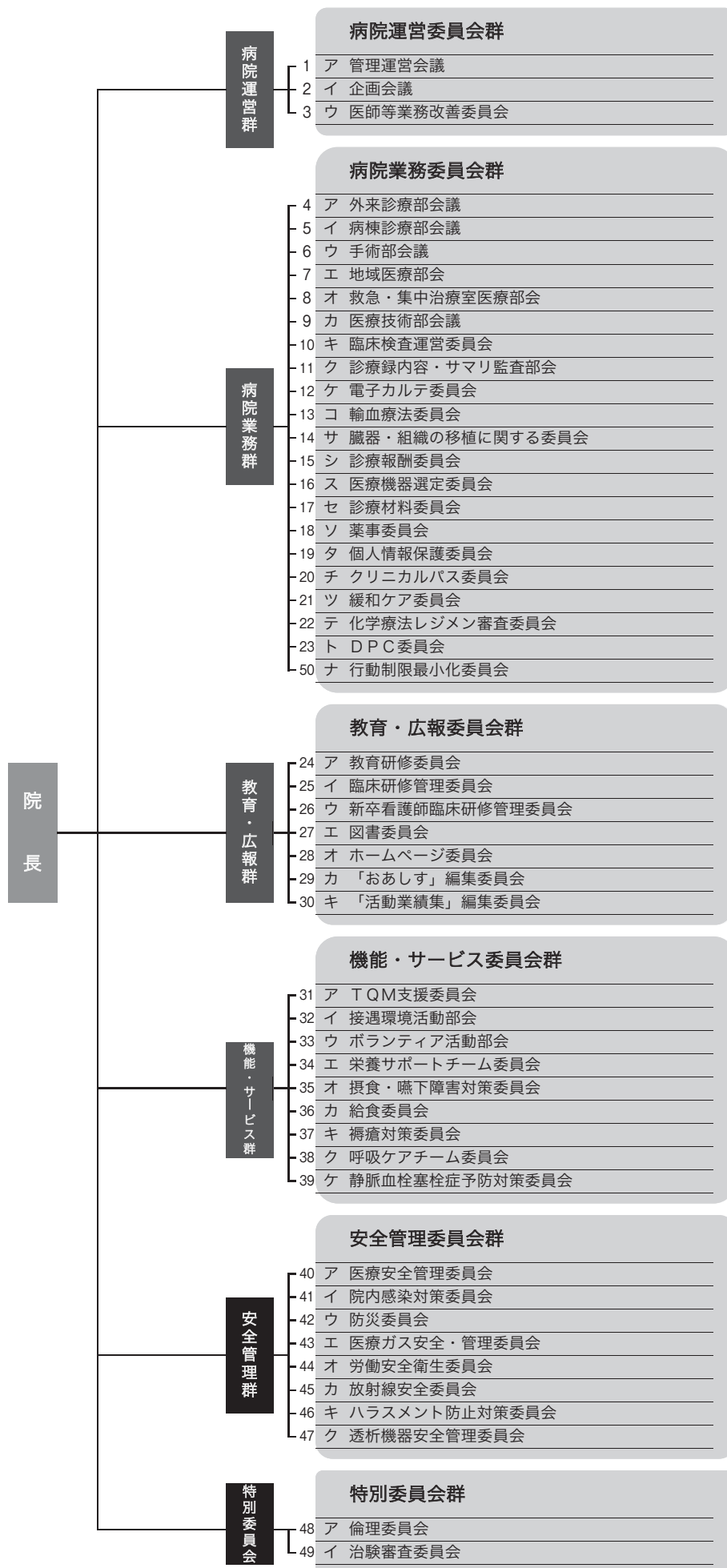
#### (1) 機構図



(2) 組織図

平成25年3月31日現在





No.	委員会名	開催（原則）	人数	任期	委員	目的（要綱/規約第1項）	根拠法令等	診療報酬等
病院運営委員会	ア 管理運営会議	毎月（最終火曜）	19	特に定めない	院長、副院長、12部局長、医局長、薬剤科長、外来看護科長並びに病棟看護科長	医療法第1条の2第1項に掲げる理念に基づき病院を適正に組織し、かつ運営することを目的とする。		なし
	イ 企画会議	原則月2回（毎月第1・3水曜）	7	会則なし	院長、副院長、事務局長、看護部長、総務課長	病院全般の企画、管理、経営、予算、人事、危機管理、その他重要かつ緊急事項などを協議・決定するため「企画会議」を設置する。		なし
	ウ 医師等業務改善委員会	（随時）	8	2年	院長の指名する委員長、副委員長1名及び院長が必要と認めた者	本委員会は、病院長の諮問機関として、医師業務等の負担軽減及び処遇の改善をはかるため、...事項を検討する。	総合入院体制加算に関する施設基準等	入院基本料等
病院業務委員会	ア 外来診療部会議	月1回（第3火曜）	26	1年	診療部、看護部、医事課（ニチイ学館）、薬剤科、放射線技術科、臨床検査科、総合リハビリテーションセンターの代表者若干名	病院理念に基づき、外来診療がスムーズに行なわれることを目的とする。		-
	イ 病棟診療部会議	月1回（第2木曜）	29	1年	関連部署の代表者（診療部、看護部、医事課、医療技術部の若干名）	病棟診療が効果的・効率的に行なわれることを目的とする。		-
	ウ 手術部会議	（1ヶ月に1回）	6+	会則なし	手術室を利用する病院スタッフ	当院手術室で行われるあらゆる診療行為が、安全かつ適正に、そして効率的に実施されるよう、問題点の検討と改善、情報の交換や伝達などを行うことを目的とする。		なし
	エ 地域医療部会	（第4木曜）	12	在任期間	地域医療部所属職員	当院の理念のもと、地域住民の健康と医療・福祉の向上に寄与すること目的とする。		なし
	オ 救急・集中治療室医療部会	毎月定期的ERカンファレンス	4+	2年	委員会の構成は固定せず、救急・集中治療に携わる病院職員は、誰もが参加、発言できる	高度で標準化された医療が救急室、集中治療室およびハイケアユニットで施行され、もって医療の質向上を図ることを目的とする。		特定集中治療室管理料
	カ 医療技術部会議	毎月第3水曜	11	2年	各科及びセンターの実務担当者より部長が指名した職員	医療技術部に属する科およびセンターの進展、実務の充実、部内の連携をはかることにより、当院の医療の質的向上に寄与することを目的とする。		なし
	キ 臨床検査運営委員会	必要に応じて随時	11	2年	医師・技師・看護師・事務職員の中から院長が指名する者	院内における臨床検査の適性で効率的な運用とその精度向上をはかり、疾病の診断治療に寄与することを目的とする。	保医発第0305003号 診療報酬上の、厚生労働大臣が定める施設基準	検体検査管理加算
	ク 診療録内容・サマリ監査部会	（毎月第2火曜）	10	2年	会長、副会長及び若干の会員（医局、看護部、医療技術部、医療情報部）	診療記録の記載・内容を監査し、よりよい診療記録を作成するために必要とする全ての事柄を決定する。		入院基本料等
	ケ 電子カルテ委員会	毎月（第4水曜）	23	2年	委員長、副委員長、及び必要な若干の委員（医局、看護部、医療技術部、事務局）	電子カルテシステム開発について審議し、その方針を決定するとともに、効率的なコンピュータ運営を目指すことを目的とする。		なし
	コ 輸血療法委員会	毎月（第2木曜）	21	2年	複数部門若干名（医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師、診療放射線技師などとする）	輸血療法がすみやかに院内で施行され、もって医療の資質の向上をはかることを目的とする。	「輸血療法の実施に関する指針」Ⅱ-1	輸血管理料
	サ 臓器・組織の移植に関する委員会	月1回	8	2年	院内コーディネーター若干名、脳外科医師/ICU医師/腎臓内科医師/泌尿器科医師から若干名、ソーシャルワーカー	「臓器移植に関する法律」ならびに「角膜及び腎臓の提供に関する法律」に基づき、臓器・組織の提供を希望する人及び家族が、提供について意思決定し、自己実現を果たせるよう手助けすることを目的とする。	臓器移植に関する法律 角膜及び腎臓の提供に関する法律 臓器の移植に関する法律の運用に関する指針 等	なし
	シ 診療報酬委員会	毎月（第4水曜）	15	2年	医局2名以上、薬剤科1名、検査科1名、看護部2名、事務局数名（委託職員含）	あらゆる診療行為が適正かつ正確に請求及び収納処理されているか検討するとともに、あわせて増収対策を推進することを目的とする。		-
	ス 医療機器選定委員会	規定なし（年2～3回）	14	2年	副院長1名、医師4名、看護師1名、薬剤師1名、放射線技師1名、検査技師1名、臨床工学技士1名、事務員4名	当院が行なう医療行為に必要な医療機器の購入に際し、その性能及び仕様、保守管理体制並びに使用状況等について調査検討し、最も適正な医療機器を選定するため、病院に当委員会を設置する。		なし
	セ 診療材料委員会	1ヶ月に1回（第3金曜）	11	2年	医師5名（病棟、外来、手術、放射線、その他）、看護師3名（病棟師長、外来、手術）、医療技術員1名、事務員2名（管財課）	診療材料の使用、購入管理を適切かつ円滑に推進するため必要な事項について審議することを目的とする。（第2条）		なし
	ソ 薬事委員会	3ヶ月に1度（毎月第3火曜）	10	1年	医局5名、薬剤科2名（薬剤科長含む）、事務局2名、看護部1名	薬事の基本問題及び薬品の購入管理並びに効率的な使用について審議し、病院長の諮問に答えることを目的とする。		なし
	タ 個人情報保護委員会	月1回	17	2年	委員長、副委員長、及び必要な若干の委員（医局、看護部、医療技術部、地域医療部、事務局）	当院における個人情報の取扱について審議し、その方針を決定するとともに、評価・改善することにより個人情報の適切な管理運営を目指すことを目的とする。	個人情報の保護に関する法律	なし
	チ クリニカルパス委員会	原則毎月（2ヶ月に1回）	33	2年	若干名（おおよそ医師3名、薬剤師1名、看護師4名、臨床検査技師1名、事務2名）	クリニカルパスの運用を通して医療の標準化、チーム医療の推進、インフォームドコンセントの充実および業務内容の効率化をはかり、もって医療の質の向上に貢献することを目的とする。		なし
	ツ 緩和ケア委員会	（毎月第2火曜）	16	2年	職員の中から適当名（医局、看護部、医療技術部、がん診療部）	院内外における緩和ケア（緩和医療を含む）を院内で運営するにあり、関連事項を討議する。あわせてスムーズな業務運営が達成できるよう院内外の調整を行うことを目的とする。	厚生省通知「がん診療連携拠点病院の整備について」	緩和ケア加算（がん診療連携拠点病院）
	テ 化学療法レジメン審査委員会	（申請があったとき）	8	2年	医師、看護師、薬剤師、事務	当委員会は、外来並びに入院化学療法の妥当性を評価し承認する機関であり、その活動は外来及び入院化学療法のレジメンに関する審査を行うことを目的とする。	保医発第0305003号 診療報酬上の、厚生労働大臣が定める施設基準	外来化学療法加算
	ト DPC委員会	（随時）	20	1年	(1) 医師 (2) 看護師 (3) 薬剤師 (4) 診療放射線技師 (5) 臨床検査技師 (6) 事務員 (7) その他病院長が必要と認めた者	DPC対象病院としてDPC業務の適正な運用を図ることを目的とする。		DPC
ナ 行動制限最小化委員会	月1回	7	1年	(1) 医師 (2) 看護師 (3) 精神保健福祉士 (4) 臨床心理士 医師のうち1人は、精神保険指定医	本院精神科における医療保護入院等に係る患者の基本的な人権を尊重するため、医療及び保護に不可欠な必要最低限の行動制限基準を定め、運用することを目的とする。		医療保護入院等診療料	

	No.	委員会名	開催（原則）	人数	任期	委員	目的（要綱/規約第1項）	根拠法令等	診療報酬等
教育・広報委員会	ア	教育研修委員会	3ヶ月に1回	14	2年	院内各部門から（医局、看護部、医療技術部、事務局、教育研修部）	全職員の専門分野の研修、医療人としての資質の向上を目指し、高い倫理観のもとに医学・医療の進歩にすみやかに対応し、人との相互理解を深めることにより地域住民に貢献することを目的とする。		なし
	イ	臨床研修管理委員会	規定なし（毎年度末1回）	15	2年	院長、教育研修部長、教育研修部副部長、臨床研修専門委員会委員長、臨床研修プログラム責任者、歯科臨床研修プログラム責任者、看護部長、事務局長、臨床研修協力施設の研修実施責任者、臨床研修協力施設以外に所属する有識者、その他委員長が必要と認められた者	臨床研修プログラム（歯科臨床研修プログラムを含む。）及び研修医（歯科研修医を含む。）の管理、評価等臨床研修の実施の総括管理を行うため、当委員会を置く。	医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令等	臨床研修病院入院診療加算
	ウ	新卒看護師臨床研修管理委員会	年1回（3月）	5	会則なし	市立砺波総合病院院長、同看護部長、同事務局長、同教育研修部長、同看護部看護教育研修科長、その他委員会が必要と認められた者	新卒看護師臨床研修プログラム及び臨床研修看護師の管理・評価など、新卒看護師臨床研修実施の総括管理を行う。		なし
	エ	図書委員会	月1回	15	2年	職員の中から適当名	図書室の管理運営方法を企画、検討するとともに職員の研究・研修活動に資するため、関連事項を討議する。あわせて病院の運営方針に沿った患者図書サービスを推進することを目的とする。	医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令（図書室設置）	臨床研修病院入院診療加算（単独型）
	オ	ホームページ委員会	毎月1回	18	2年	特に規定なし（医局、教育研修部、救急・集中治療部、看護部、医療技術部、事務局、事務）	当院の最新の情報を提供し、市立砺波総合病院が院内外に向けて行う広報活動に寄与することを基本的な目的とする。		なし
	カ	「おあしす」編集委員会	委員長が必要と認められたとき	8	2年	特に規定なし（医局、看護部、医療技術部、事務局、事務）	当院の診療にかかる情報及び院内の活動を紙面にて提供し、当院が院内外に向けて行う広報活動に寄与することを基本的な目的とする。		なし
	キ	「活動業績集」編集委員会	委員長が必要と認められたとき	18	2年	特に規定なし（医局、教育研修部、救急・集中治療部、看護部、医療技術部、事務局、事務）	「活動業績集」編集委員会（以下「委員会」という）は、市立砺波総合病院の活動業績集の作成及び発行において必要な事象を協議することを基本的な目的とする。		なし
機能・サピス委員会	ア	TQM支援委員会	月1回	30	2年	院長の委嘱による委員若干名（医局、看護部、医療技術部、事務局、事務）	TQM支援委員会は、病院の理念に沿い、患者の立場に立って、職員全体が参加して改善に取り組み、医療の質の向上を図るため必要な支援を行う。これにより当院が地域住民から親しまれ、その存在を支持されることを目的とする。		なし
	イ	接遇環境活動部会	奇数月（第1金曜）	17	2年	診療部、看護部、医療技術部、総合相談室、事務局の代表者若干名	病院の理念に沿い、病院職員の接遇向上と院内環境美化に関する問題を検討し、全病的に改善することを目的とする。		なし
	ウ	ボランティア活動部会	月1回程度	11	2年	総務課、看護部、図書室司書、ボランティアコーディネーター及びボランティア代表者	当院のボランティアの運営の円滑を図る。		なし
	エ	栄養サポートチーム委員会	毎月（第3水曜）	21	2年	医師、言語聴覚士、栄養管理士、看護師、薬剤師、臨床検査技師、情報システム担当職員	当院で治療を受けている患者の栄養管理上生ずるいろいろな問題点に対して、適切な助言と指導を主治医および担当スタッフに与えることのできる「栄養サポートチーム(NST)」の活動が、有効かつ効率的に行なわれることを目的として運営される。		栄養管理実施加算
	オ	摂食・嚥下障害対策委員会	1ヶ月に1度（第2水曜）	18	1年	医師、歯科医師、看護師、栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士	摂食・嚥下障害のある患者の誤嚥や窒息を防止して安全に食事がとれることを目標にするとともに、その達成のために広く啓蒙活動を行い、また病院長の諮問に答えることを目的とする。		摂食機能療法
	カ	給食委員会	3、6、9、12月の年4回	10	2年	栄養科長、医師1名、管理栄養士2名、調理師2名、管財課主幹、看護師長、看護師2名	当院で治療を受けている患者の栄養補給が安全かつ快適になされ、疾患の治療に相応しいものとなることを目的として運営される。	保医発第0306009号「入院時食事療養の実施上の留意事項について」1-(9)	入院時食事療養費
	キ	褥瘡対策委員会	月1回（第3木曜）	15	2年	専門担当医師2名、専門担当看護師6名、薬剤師1名、栄養士1名、理学療法士1名、放射線技師1名、臨床検査技師1名、事務（管財課）1名、事務（医事課）1名 その他委員長または病院長が必要と認める者	当院における院内褥瘡対策を討議・検討し、その効率的な推進を図るため、当委員会を設置する。	保医発第0305002号 診療報酬上の、厚生労働大臣が定める施設基準	入院基本料褥瘡患者管理加算
	ク	呼吸ケアチーム委員会	毎月	12	2年	呼吸管理に精通した医師、看護師、理学療法士、臨床工学技士を持って構成する。また、病棟毎にリンクナースを若干名置く。	当院における呼吸ケアの質向上と安全なケアの提供を目指し、呼吸ケアチームの活動が有効かつ効率的に行われることを目的に委員会を設置する。		呼吸ケアチーム加算
ケ	静脈血栓塞栓症予防対策委員会	随時	17	2年	委員長：1名、委員：職員の中から適当名	院内外における静脈血栓塞栓症の予防および発症時の対策・治療に対し、関連事項を討議する。あわせて院内で円滑な治療が可能となるように調整を行うことを目的とする。			
安全管理委員会	ア	医療安全管理委員会	毎月1回（第2水曜）	13	会則なし	副院長、医療安全部長、医療安全部副部長、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、地域医療部長、救急・集中治療部長、看護部長、薬剤科長、事務局長、医療安全管理室長、リスクマネージャー及び委員長が指名する者	当院における適切な医療安全管理を推進し、安全な医療を提供することを目的とする。	医療法施行規則 第十一条の二項	入院基本料医療安全対策加算
	イ	院内感染対策委員会	毎月1回（第1木曜）	21	2年	院長、看護部長、薬剤科及び臨床検査科責任者、事務局長に加え、院長が委嘱する医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、栄養士、リハビリテーション技師、事務等	当委員会は院内における総合的な感染対策を行っていくための方針を協議・実行する機関であり、その活動は、病院感染に関する対策や予防活動を主とし、感染防止の実践を推進することを目的とする。	保医発第0305002号 診療報酬上の、厚生労働大臣が定める施設基準	入院基本料
	ウ	防災委員会	年2回	12	2年	院長またはその名を受けた者、総務課長（防災管理者）、医局長、管財課長、薬剤科長、放射線技術科長、臨床検査科長、病棟看護科長、外来看護科長、栄養科調理係員又は栄養管理係員、庶務係員、管財係員	当院の防災管理業務について必要な事項を定め、火災等の災害の予防及び人命の安全並びに災害防止を図ることを目的とする。		なし
	エ	医療ガス安全・管理委員会	規定なし（年1回）	8	2年	院長またはその名を受けた者（副院長）、麻酔科部長、薬剤師、病棟看護師、手術・救急・集中治療看護師、臨床工学技士、管財係長、管財係員（委員の中に、監督責任者と実施責任者を置く）	当院の医療ガス設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することを目的とする。	厚労省通知「診療の用に供するガス設備の保安管理について」	なし
	オ	労働安全衛生委員会	規定なし（月1回）	14	2年	病院を管理するもの、またはこれに準ずるもの1名、衛生管理者（医局）1名、産業医1名、薬剤科1名、放射線技術科1名、臨床検査科1名、栄養科1名、その他の医療技術員1名、看護師2名、看護助手1名、事務局2名、職員労働組合1名	職員の労働災害・健康障害を防止し快適な作業環境の形成を促進するとともに、職員の健康の保持増進を促進することを目的とする。	労働安全衛生法 第十七～十九条	なし
	カ	放射線安全委員会	年1回	12	2年	放射線安全委員長、放射線取扱主任者、放射線取扱副主任者、放射線管理室長、管理区域責任者、施設管理担当者、その他委員長が必要と認められた者	法に基づき規定される「市立砺波総合病院放射線障害予防規定」第8条に基づくもの。（同第8条1項：放射線障害の防止について必要な事項を企画審議するために、放射線安全委員会を置く。）	放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律 第21条により「院内予防規定」を作成	なし
	キ	ハラスメント防止対策委員会	（必要に応じて随時）	7	2年	副院長、事務局長、院外医師1名、その他院外有識者2名	院内の職場ハラスメントの対応及びその解決に努め、もって職員の身体的・精神的安全を確保することを目的とする。		なし
ク	透析機器安全管理委員会	6ヵ月に1回	5	2年	・医師 ・臨床工学技士 ・その他、委員長が必要と認められた者	人工透析における透析液の水質を確保し合併症を防止する観点から、透析液の製造、品質管理、透析機器設備に関する適正な管理及び必要に応じた改善等を行うために透析機器安全管理委員会を設置する。		透析液水質確保加算	
特別委員会	ア	倫理委員会	規定なし	8	2年	副院長、事務局長、医局長、看護部長、技術職員代表、学識経験者（2名以内）	当院で行われるで行われる医療行為および臨床研究および疫学研究に関し、ヘルシンキ宣言およびリスボン宣言の趣意に沿った倫理的社会的観点から審査を行う。		なし
	イ	治験審査委員会	月1回（第4水曜）	11	2年	医師5名、治験事務局長、看護部長、事務局長、総務課長、薬剤科長、当院及び治験審査委員会の設置者（病院長）と利害関係をもたない2名の外部委員	当院における治験の実施に際し、GCP省令及びその関連通知に基づいて治験が適正かつ安全に実施されるために、治験審査委員会が行うべき業務手順を定める。	医薬品の臨床試験の実施の基準に関する省令	治験にかかる収入



#### 4. 職員数

(平成25年 3月31日現在)

部門	職 種	職 名	正職員	臨時職員	計	備 考
医 師	医 師	院長	1 名	名	1 名	
		院副院長	3		3	
		部長	29		29	
		部長	22		22	
		部長	20		20	
	臨床研修医	3	3	3		
	小計	75	3	78		
	歯科医 師	部長	1		1	
		部長	1		1	
		部長	1		1	
臨床研修医		1	1	1		
小計	3	1	4			
医 療 技 術 部	薬 剤 師	科主幹	1		1	
		係主幹	2		2	
		主任	1		1	
		査任	3		3	
		師	6		6	
	薬剤師	3	1	4		
	小計	16	1	17		
	薬 剤 助 手	助 手		4	4	
	放 射 線 技 師	主幹	2		2	
		係主幹	1		1	
主任		6		6		
技師	9	2	11			
小計	18	2	20			
臨 床 検 査 技 師	科主幹	1		1		
	係主幹	2		2		
	主任	1		1		
査任	2		2			
師	9		9			
技師	8	7	15			
小計	23	7	30			
検 査 助 手	助 手		1	1		
管 理 栄 養 士	係主幹	1		1		
	主任	1		1		
	栄養士	1	1	2		
小計	3	1	4			
栄 養 士	主任	1		1		
	係主任	1		1		
	調理師	2		2		
調理師	11	2	13			
小計	14	2	16			
調 理 助 手	主任 助 手	1		1		
助 手	2	3	5			
小計	3	3	6			
臨 床 心 理 士	臨床心理士	1	1	2		
	歯科技工士	1		1		
	主任	1		1		
歯科衛生士	2	1	3			
作 業 療 法 士	係主任	1		1		
	主任	2		2		
	作業療法士	3	1	4		
小計	6	1	7			
理 学 療 法 士	係主任	1		1		
	主任	1		1		
	理学療法士	4		4		
理学療法士	9	2	11			
小計	15	2	17			
言 語 聴 覚 士	主任	1		1		
	言語聴覚士	2		2		
小計	3		3			

部門	職 種	職 名	正職員	臨時職員	計	備 考
医療技術部門	理 療 士	主任	1 名	名	1 名	
	鍼 灸 師	主任	1		1	
		鍼 灸 師 小	1	3	3	
	鍼 灸 助 手	助 手		3	4	
	社 会 福 祉 士	主任	1		1	
		社 会 福 祉 士 小	1	1	2	
	精 神 保 健 福 祉 士	精 神 保 健 福 祉 士	1		1	
臨 床 工 学 技 士	主任	1		1		
	臨 床 工 学 技 士 小	3	1	4		
診 療 情 報 管 理 士	診 療 情 報 管 理 士	5	1	6		
視 能 訓 練 士	視 能 訓 練 士	2		2		
看護部門	看 護 師	部 長	1		1	
		科 長	4	1	5	
		師 長 代 理 任 師	17		17	
		師 主 任 師	22		22	
		助 産 師	50		50	
		看 護 師	20		20	
		臨 床 研 修 看 護 師 小	266	21	287	
	准 看 護 師	准 看 護 師	380	22	402	
	看 護 助 手	准 看 護 師	2	3	5	
		主 任 助 手	2		2	
助 看 護 助 手 小		6		6		
		8	39	47		
		16	39	55		
事務部門	事 務 職 員	局 次 課 主 係 主 主 司 事 小	1		1	
		室 長	1		1	
		室 長	2		2	
		幹 長	6		6	
		長 査 任 事 書 手	2		2	
		4		4		
		8		8		
		4		4		
	事 務 助 手 小		1	1		
			30	31	59	
保 育 士	所 保 育 士 小		1	1		
			6	6		
助 手	主 任 技 術 主 任 助 手 助 電 話 交 換 小	査 士	1		1	
		手	2		2	
		手	1		1	
		手	2		2	
	電 話 交 換 小		3	3		
保 安 員	保 安 員	6	3	9		
保 安 員	保 安 員		1	1		
合 計			630	143	773	

### 第3 決算概要

#### 1. 年度別収支状況

##### (1) 収益的収入及び支出（税抜き）

収 入

(単位：円)

科目	年度	平成22年度		平成23年度		平成24年度	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
病院事業収益		11,454,075,885	100.0%	11,219,742,953	100.0%	10,942,131,496	100.0%
医業収益		10,393,995,567	90.7%	10,181,395,304	90.7%	9,881,011,118	90.3%
入院収益		6,516,801,446	56.9%	6,273,092,254	55.9%	6,308,369,233	57.7%
外来収益		3,214,002,208	28.1%	3,176,809,917	28.3%	2,906,388,039	26.6%
その他医業収益		659,608,575	5.7%	728,460,683	6.5%	662,870,742	6.0%
へき地診療収益		3,583,338	0.0%	3,032,450	0.0%	3,383,104	0.0%
医業外収益		1,060,080,318	9.3%	1,038,347,649	9.3%	1,061,120,378	9.7%
受取利息配当金		3,250	0.0%	27,603	0.0%	1,178,465	0.0%
他会計補助金		218,721,000	1.9%	242,296,000	2.2%	231,392,000	2.1%
補助金		61,378,813	0.6%	59,737,957	0.5%	61,949,350	0.6%
負担金交付金		656,190,000	5.7%	628,310,000	5.6%	656,766,000	6.0%
その他医業外収益		123,787,255	1.1%	107,976,089	1.0%	109,834,563	1.0%
特別利益		0	—	0	—	0	—
固定資産売却益		0	—	0	—	0	—

支 出

(単位：円)

科目	年度	平成22年度		平成23年度		平成24年度	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
病院事業費用		10,892,045,765	100.0%	10,840,945,497	100.0%	10,855,241,404	100.0%
医業費用		10,415,355,454	95.6%	10,410,824,900	96.0%	10,315,213,306	95.0%
給与費		5,605,788,243	51.5%	5,737,044,475	52.9%	5,740,393,587	52.9%
材料費		2,573,608,218	23.6%	2,498,911,145	23.0%	2,206,187,734	20.3%
薬品費		1,590,178,574	14.6%	1,540,733,140	14.2%	1,204,578,288	11.1%
診療材料費		885,252,416	8.1%	866,312,276	8.0%	911,143,096	8.4%
給食材料費		83,604,976	0.8%	76,127,886	0.7%	75,901,456	0.7%
医療消耗備品費		14,572,252	0.1%	15,737,843	0.1%	14,564,894	0.1%
経費		1,248,620,672	11.5%	1,209,177,447	11.1%	1,296,106,237	11.9%

科目	年度	平成22年度		平成23年度		平成24年度	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
厚生福利費		2,532,868	0.0%	991,603	0.0%	984,170	0.0%
旅費交通費		4,961,448	0.1%	4,499,124	0.0%	4,474,132	0.0%
職員被服費		1,508,169	0.0%	1,437,597	0.0%	1,831,837	0.0%
消耗品費		41,769,599	0.4%	39,612,891	0.4%	37,692,524	0.3%
消耗備品費		5,916,800	0.1%	6,147,435	0.1%	7,495,436	0.1%
光熱水費		139,635,388	1.3%	143,966,939	1.3%	145,957,507	1.3%
燃料費		85,990,598	0.8%	94,155,819	0.9%	103,027,649	1.0%
食糧費		61,254	0.0%	63,389	0.0%	93,387	0.0%
印刷製本費		7,697,579	0.1%	6,966,674	0.1%	5,847,126	0.1%
修繕費		138,676,581	1.3%	88,703,528	0.8%	111,250,696	1.0%
保険料		33,368,286	0.3%	24,622,660	0.2%	26,893,316	0.3%
賃借料		146,149,469	1.3%	144,560,508	1.3%	153,513,974	1.4%
通信運搬費		10,487,799	0.1%	9,658,783	0.1%	10,282,601	0.1%
委託料		624,454,135	5.7%	638,068,094	5.9%	679,259,076	6.3%
交際費		384,300	0.0%	326,810	0.0%	516,240	0.0%
諸会費		3,518,247	0.0%	3,511,167	0.0%	3,315,090	0.0%
雑費		1,508,152	0.0%	1,884,426	0.0%	3,671,476	0.0%
減価償却費		930,359,854	8.5%	866,912,937	8.0%	959,366,742	8.8%
資産減耗費		13,262,900	0.1%	50,246,576	0.5%	52,999,376	0.5%
研究研修費		35,761,166	0.3%	40,322,862	0.4%	52,172,545	0.5%
謝金		1,592,876	0.0%	2,280,928	0.0%	2,412,886	0.0%
図書費		8,708,306	0.1%	8,414,413	0.1%	8,966,057	0.1%
旅費		15,525,060	0.1%	16,114,838	0.2%	16,796,079	0.2%
研究雑費		8,412,067	0.1%	11,696,018	0.1%	19,168,315	0.2%
国外病院交流費		1,522,857	0.0%	1,816,665	0.0%	4,829,208	0.0%
へき地医療活動費		7,954,401	0.1%	8,209,458	0.1%	7,987,085	0.1%
医業外費用		476,690,311	4.4%	430,120,597	4.0%	402,232,986	3.7%
特別損失		0	—	0	—	137,795,112	1.3%
差引（純損益）		562,030,120	—	378,797,456	—	86,890,092	—

## (2) 資本的收入及び支出（税込み）

（単位：円）

科目	年度	平成22年度		平成23年度		平成24年度	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
資本的收入		207,908,000	100.0%	1,276,266,900	100.0%	585,902,000	100.0%
企業債		177,000,000	85.1%	1,027,000,000	80.5%	504,900,000	86.2%
出資金		30,908,000	14.9%	35,020,000	2.7%	18,000,000	3.1%
固定資産売却代金		0	—	0	—	0	—
補助金		0	—	214,246,900	16.8%	63,002,000	10.8%
寄附金		0	—	0	—	0	—
資本の支出		1,171,696,907	100.0%	2,207,071,026	100.0%	1,600,225,445	100.0%
建設改良費		226,105,497	19.3%	1,257,716,250	57.0%	642,666,970	40.2%
企業債償還金		945,591,410	80.7%	949,354,776	43.0%	957,558,475	59.8%
建設利息		0	—	0	—	0	—
収支差引		△ 963,788,907	—	△ 930,804,126	—	△ 1,014,323,445	—
補填財源内訳							
過年度分損益勘定留保資金		537,668,180	55.8%	927,919,230	99.7%	1,013,057,514	99.9%
現年度分損益勘定留保資金		425,709,518	44.2%	0	—	0	—
建設改良積立金取崩額		0	—	0	—	0	—
減債積立金取崩額		0	—	0	—	0	—
当年度分消費税資本の収支調整額		411,209	0.0%	2,884,896	0.3%	1,265,931	0.1%

## (3) 年度別収支表 (税抜き)

(単位：千円)

	収益	費用	純利益	収益中の 一般会計 繰入金	繰入金 控除後の 純利益	出資金の 一般会計 繰入金	繰入金 合計
	A	B	C = A - B	D	E = C - D	F	D + F
平成 7年度	8,962,926	9,006,082	△ 43,156	404,708	△ 447,864	277,989	682,697
平成 8年度	9,172,178	9,242,141	△ 69,963	402,216	△ 472,179	265,377	667,593
平成 9年度	9,299,819	9,373,656	△ 73,837	399,618	△ 473,455	316,062	715,680
平成10年度	9,434,298	9,359,793	74,505	359,182	△ 284,677	360,492	719,674
平成11年度	9,747,500	9,762,204	△ 14,704	396,716	△ 411,420	309,429	706,145
平成12年度	9,579,297	9,529,144	50,153	349,492	△ 299,339	247,639	597,131
平成13年度	9,859,453	10,701,494	△ 842,041	377,443	△ 1,219,484	239,459	616,902
平成14年度	9,945,032	10,152,770	△ 207,738	409,207	△ 616,945	405,644	814,851
平成15年度	10,248,767	10,712,923	△ 464,156	505,494	△ 969,650	0	505,494
平成16年度	10,975,691	10,948,545	27,146	600,000	△ 572,854	150,000	750,000
平成17年度	10,497,687	11,395,583	△ 897,896	523,849	△ 1,421,745	163,151	687,000
平成18年度	10,393,577	11,428,071	△ 1,034,494	426,957	△ 1,461,451	354,183	781,140
平成19年度	10,354,913	11,252,255	△ 897,342	596,371	△ 1,493,713	321,771	918,142
平成20年度	10,355,407	11,215,818	△ 860,411	707,917	△ 1,568,328	342,083	1,050,000
平成21年度	10,749,416	10,740,144	9,272	1,130,942	△ 1,121,670	99,058	1,230,000
平成22年度	11,454,076	10,892,046	562,030	1,169,092	△ 607,062	30,908	1,200,000
平成23年度	11,219,743	10,840,945	378,798	1,164,980	△ 786,182	35,020	1,200,000
平成24年度	10,942,131	10,855,241	86,890	1,182,000	△ 1,095,110	18,000	1,200,000

## 2. 診療行為別収入の状況

### (1) 診療行為別収入比較表

	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
	金額 千円	構成比	対前年度比 1人1日当り収益	金額 千円	構成比	対前年度比 1人1日当り収益	金額 千円	構成比	対前年度比 1人1日当り収益
投薬	71,535	1.1%	63.7%	61,777	1.0%	88.7%	63,569	1.0%	88.9%
注射・麻酔	317,080	4.9%	45.0%	339,945	5.5%	106.2%	293,923	4.7%	92.7%
処置・手術	1,253,098	19.5%	106.8%	1,159,909	18.6%	102.8%	1,225,143	19.6%	97.8%
検査	78,739	1.2%	26.6%	73,443	1.2%	84.2%	71,338	1.1%	90.6%
X線	42,532	0.7%	19.4%	34,199	0.5%	79.4%	36,199	0.6%	85.1%
入院料	4,027,137	62.5%	142.8%	3,945,107	63.4%	106.6%	3,936,835	63.1%	97.8%
食事療養	261,322	4.1%	105.9%	243,495	3.9%	98.9%	237,769	3.8%	91.0%
その他	385,322	6.0%	70.1%	366,740	5.9%	107.3%	370,684	6.1%	96.2%
計	6,436,765	100.0%	105.2%	6,224,615	100.0%	104.8%	6,235,460	100.0%	96.9%

	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
	金額 千円	構成比	対前年度比 1人1日当り収益	金額 千円	構成比	対前年度比 1人1日当り収益	金額 千円	構成比	対前年度比 1人1日当り収益
初診料	81,151	2.5%	99.7%	79,859	2.5%	96.9%	79,195	2.7%	97.6%
再診料	140,605	4.3%	106.4%	142,000	4.4%	105.1%	145,218	5.0%	103.3%
投薬	567,843	17.2%	93.9%	479,853	14.8%	79.4%	122,362	4.2%	21.5%
注射・麻酔	416,113	12.6%	126.0%	435,854	13.4%	119.6%	481,964	16.5%	115.8%
処置・手術	435,931	13.2%	104.9%	446,828	13.8%	111.4%	434,212	14.8%	99.6%
検査	712,828	21.4%	103.0%	693,055	21.3%	103.0%	705,345	24.1%	99.0%
X線	512,398	15.5%	113.0%	510,573	15.7%	110.1%	519,446	17.7%	101.4%
その他	439,650	13.3%	182.2%	461,348	14.1%	105.2%	441,411	15.0%	100.4%
計	3,306,519	100.0%	112.1%	3,249,370	100.0%	102.7%	2,929,153	100.0%	88.6%

## 第4 業務概要

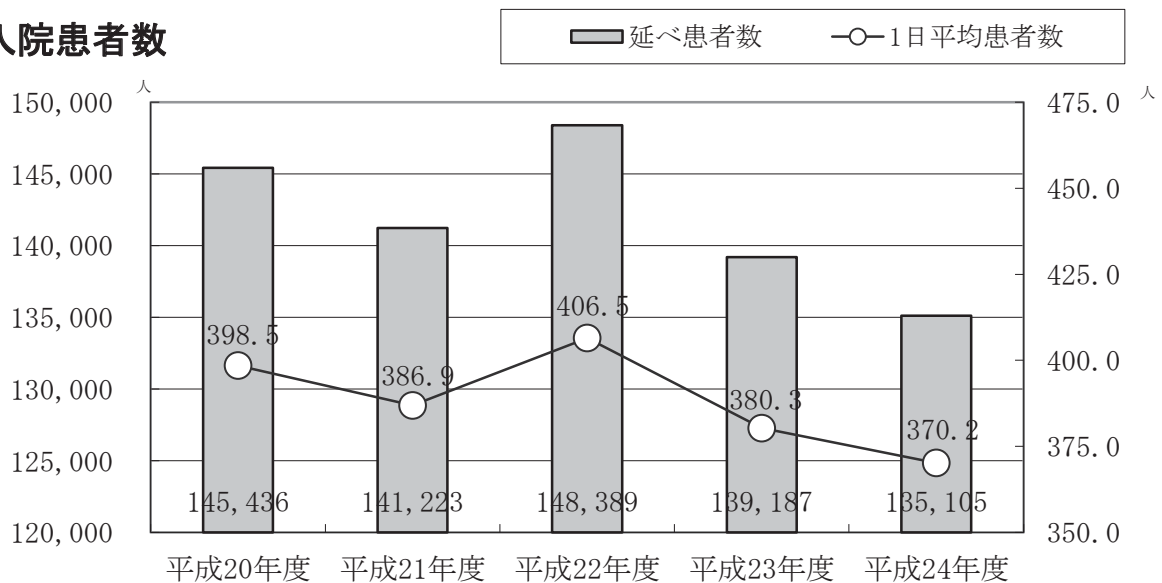
### 1. 患者の状況

#### (1) 入院・外来別患者数

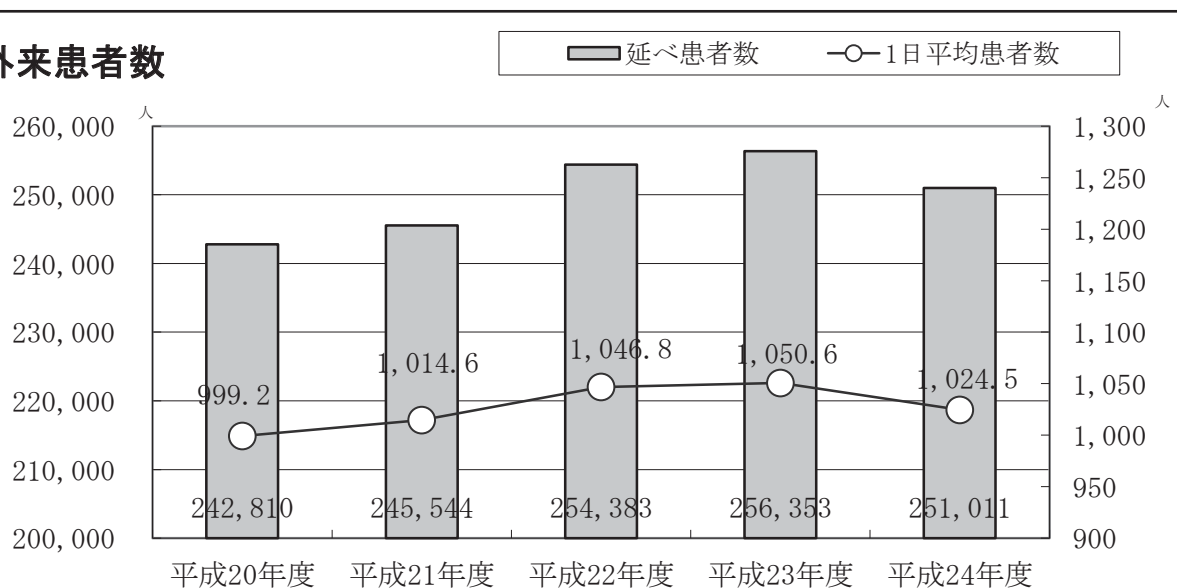
(単位：人)

区分		年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
入院	延べ患者数		145,436	141,223	148,389	139,187	135,105
	1日平均患者数		398.5	386.9	406.5	380.3	370.2
	対前年度比		96.1%	97.1%	102.0%	95.7%	95.7%
外来	延べ患者数		242,810	245,544	254,383	256,353	251,011
	1日平均患者数		999.2	1,014.6	1,046.8	1,050.6	1,024.5
	対前年度比		96.9%	101.1%	104.8%	105.6%	102.2%

#### 入院患者数



#### 外来患者数





## (2) 月別患者数

### ア. 入院

(単位：人)

(単位：人)

年度 区分 月別	平成23年度			平成24年度		
	一般 (感染・結核含む)	精神	計	一般 (感染・結核含む)	精神	計
4月	10,971	793	11,764	10,542	790	11,332
5月	11,081	797	11,878	10,989	832	11,821
6月	10,745	710	11,455	10,260	882	11,142
7月	11,421	735	12,156	10,410	915	11,325
8月	10,204	839	11,043	9,684	785	10,469
9月	10,445	798	11,243	9,007	656	9,663
10月	11,039	796	11,835	9,975	837	10,812
11月	10,506	705	11,211	10,712	781	11,493
12月	10,626	817	11,443	11,107	726	11,833
1月	10,840	867	11,707	11,184	769	11,953
2月	10,983	893	11,876	10,294	793	11,087
3月	10,664	912	11,576	11,385	790	12,175
計	129,525	9,662	139,187	125,549	9,556	135,105
1日平均	353.9	26.4	380.3	344.0	26.2	370.2

### イ. 外来（初診・再診別）

(単位：人)

(単位：人)

年度 区分 月別	平成23年度			平成24年度		
	初診	再診	計	初診	再診	計
4月	2,276	18,047	20,323	2,299	18,040	20,339
5月	2,603	18,053	20,656	2,654	18,626	21,280
6月	2,627	19,622	22,249	2,371	18,008	20,379
7月	2,499	18,847	21,346	2,552	19,356	21,908
8月	3,067	20,892	23,959	2,914	20,183	23,097
9月	2,453	19,152	21,605	2,171	17,204	19,375
10月	2,390	19,132	21,522	2,567	20,082	22,649
11月	2,331	18,762	21,093	2,356	18,997	21,353
12月	2,232	18,971	21,203	2,205	18,446	20,651
1月	2,372	17,822	20,194	2,342	17,852	20,194
2月	2,242	17,938	20,180	2,236	16,986	19,222
3月	2,471	19,552	22,023	2,398	18,166	20,564
計	29,563	226,790	256,353	29,065	221,946	251,011
1日平均	121.2	929.5	1,050.6	119.1	909.6	1,028.7





#### (4) 市町村別年間延患者数

##### ア. 入院

市町村		人口 (平成25年 4月 1日)	平成22年度		平成23年度		平成24年度	
			延べ日数	構成比	延べ日数	構成比	延べ日数	構成比
砺波市		49,322	62,899	42.4%	57,156	41.1%	58,221	43.1%
高岡市		173,086	9,420	6.3%	8,980	6.5%	8,463	6.3%
小矢部市		31,123	22,229	15.0%	20,912	15.0%	21,137	15.6%
南砺市		52,975	47,185	31.8%	45,754	32.9%	41,348	30.6%
県内その他市町村		770,951	3,046	2.1%	2,286	1.6%	2,276	1.7%
他 県	石川県	—	954	0.7%	796	0.6%	868	0.7%
	岐阜県	—	1,069	0.7%	1,528	1.1%	1,304	1.0%
	その他	—	1,587	1.1%	1,775	1.3%	1,488	1.1%
合計		—	148,389	100.0%	139,187	100.0%	135,105	100.0%

##### イ. 外来

市町村		人口 (平成25年 4月 1日)	平成22年度		平成23年度		平成24年度	
			延べ日数	構成比	延べ日数	構成比	延べ日数	構成比
砺波市		49,322	111,047	43.7%	112,907	44.0%	110,382	44.0%
高岡市		173,086	17,717	7.0%	17,837	7.0%	17,254	6.9%
小矢部市		31,123	35,054	13.8%	36,060	14.1%	35,938	14.3%
南砺市		52,975	81,069	31.9%	79,728	31.1%	79,009	31.5%
県内その他市町村		770,951	4,233	1.7%	3,954	1.5%	3,806	1.5%
他 県	石川県	—	1,237	0.5%	1,295	0.6%	1,131	0.5%
	岐阜県	—	2,154	0.8%	2,346	0.9%	2,153	0.9%
	その他	—	1,872	0.7%	2,226	0.9%	1,338	0.5%
合計		—	254,383	100.0%	256,353	100.0%	251,011	100.0%

(5)入院（病床種別等）・外来（初診・再診・紹介率等）患者数

区分		年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
入院	入院延患者数		145,436	141,223	148,389	139,187	135,105
	稼動病床利用率		77.5%	75.3%	79.1%	79.1%	72.0%
	1日平均入院患者数		398.5	386.9	406.5	380.3	370.2
	平均在院日数（全体）		16.9	16.2	16.8	16.3	15.7
	稼動病床利用率	一般	78.4%	76.2%	80.2%	82.2%	74.3%
		感染症	6.1%	12.9%	35.5%	23.6%	26.6%
		結核	11.1%	4.3%	17.7%	28.6%	6.6%
		精神	82.6%	79.1%	78.6%	59.9%	59.5%
オープンベッド利用率		1.6%	3.9%	10.6%	7.7%	2.8%	
外来	外来延患者数		242,810	245,544	254,383	256,353	251,011
	内訳	初診	31,051	30,712	30,227	29,563	29,065
		再診	211,759	214,832	224,156	226,790	221,946
	1日平均外来患者数		999.2	1,014.6	1,046.8	1,050.6	1,024.5
	紹介率		21.0%	20.7%	22.2%	22.9%	25.6%
	逆紹介率		11.3%	14.1%	16.9%	17.8%	18.7%
	平均通院日数		7.8	8.0	8.4	8.7	8.6
1日当り入院・外来比率		250.8%	262.2%	257.5%	276.3%	276.8%	

紹介率：〔(文書紹介数 + 救急搬送数) / 初診患者数〕 × 100

逆紹介率：〔逆紹介患者数(注1) / 初診患者数〕 × 100

(注1)他の病院、診療所、老健などへ紹介し、診療情報提供料を算定した全ての件数

(6)へき地巡回診療の状況

		平成22年度	回当たり 受診者数 (人)	平成23年度	回当たり 受診者数 (人)	平成24年度	回当たり 受診者数 (人)
地 区	種 別						
井 栗 谷	診 療 日 数	48		49		49	
	患 者 数	257	5.4	253	5.2	300	6.1
五 谷	診 療 日 数	27		26		26	
	患 者 数	190	7.0	199	7.7	191	7.3
東 別 所	診 療 日 数	75		75		75	
	患 者 数	447	6.0	452	6.0	491	6.5
合 計	診 療 日 数	75		75		75	
	患 者 数	447	6.0	452	6.0	491	6.5

## 2. 時間外救急患者数

### (1) 科別時間外救急患者数

区分 科	平成23年度						平成24年度					
	入院	外来	計	1日平均患者数		構成比	入院	外来	計	1日平均患者数		構成比
				休日日中	夜間					休日日中	夜間	
内科	人 146	人 1,856	人 2,002	人 4.7	人 3.9	21.2%	人 53	人 1,806	人 1,859	人 4.2	人 3.7	19.1%
血液内科	27	5	32	0.1	0.0	0.3%	23	9	32	0.1	0.0	0.3%
腎高血圧内科	141	18	159	0.5	0.3	1.7%	158	78	236	0.6	0.4	2.4%
内分泌内科	63	17	80	0.1	0.2	0.8%	113	26	139	0.4	0.2	1.4%
東洋医学科	4	2	6	0.0	0.0	0.1%	0	3	3	0.0	0.0	0.0%
精神科	11	75	86	0.2	0.2	0.9%	12	89	101	0.3	0.2	1.0%
神経内科	1	1	2	0.0	0.0	0.0%	1	2	3	0.0	0.0	0.0%
呼吸器科	21	9	30	0.1	0.1	0.3%	0	6	6	0.0	0.0	0.1%
消化器科	183	101	284	0.8	0.5	3.0%	209	163	372	0.9	0.7	3.8%
循環器科	139	70	209	0.4	0.4	2.2%	127	113	240	0.4	0.5	2.5%
小児科	147	595	742	1.4	1.6	7.8%	106	687	793	1.3	1.8	8.2%
外科	210	134	344	0.9	0.7	3.6%	119	182	301	0.8	0.6	3.1%
整形外科	223	1,390	1,613	6.0	2.4	16.9%	206	1,490	1,696	6.2	2.6	17.4%
形成外科	17	1,162	1,179	4.0	1.9	12.4%	14	1,043	1,057	3.5	1.7	10.9%
脳神経外科	265	780	1,045	2.7	2.0	11.0%	227	838	1,065	2.8	2.0	10.9%
呼吸器外科	0	0	0	0.0	0.0	0.0%	0	0	0	0.0	0.0	0.0%
心臓血管外科	12	7	19	0.1	0.0	0.2%	8	12	20	0.1	0.0	0.2%
皮膚科	14	457	471	1.4	0.8	4.9%	19	469	488	1.4	0.9	5.0%
泌尿器科	28	325	353	0.8	0.7	3.7%	32	345	377	0.8	0.8	3.9%
大腸肛門科	25	68	93	0.3	0.2	1.0%	36	66	102	0.3	0.2	1.1%
産婦人科	32	113	145	0.4	0.3	1.5%	32	105	137	0.3	0.3	1.4%
眼科	3	132	135	0.2	0.3	1.4%	3	162	165	0.3	0.4	1.7%
耳鼻咽喉科	19	391	410	1.0	0.8	4.3%	13	391	404	0.8	0.9	4.2%
麻酔・ペインクリニック	0	0	0	0.0	0.0	0.0%	0	1	1	0.0	0.0	0.0%
リハビリテーション科	0	0	0	0.0	0.0	0.0%	0	0	0	0.0	0.0	0.0%
緩和ケア	0	0	0	0.0	0.0	0.0%	0	0	0	0.0	0.0	0.0%
放射線科	0	0	0	0.0	0.0	0.0%	0	0	0	0.0	0.0	0.0%
歯科口腔外科	2	86	88	0.2	0.2	0.9%	5	97	102	0.3	0.2	1.1%
総合科	1	1	2	0.0	0.0	0.0%	21	12	33	0.0	0.1	0.3%
計	1,734	7,795	9,529	26.1	17.3	100.0%	1,537	8,195	9,732	25.9	18.1	100.0%

## (2) 市町村別時間外救急患者数

市町村	平成23年度				平成24年度			
	入院	外来	計	構成比	入院	外来	計	構成比
砺波市	752	3,742	4,494	47.2%	709	3,874	4,583	47.1%
高岡市	85	539	624	6.5%	91	524	615	6.3%
小矢部市	278	1,063	1,341	14.1%	227	1,146	1,373	14.1%
南砺市	532	2,023	2,555	26.8%	452	2,184	2,636	27.1%
その他	87	428	515	5.4%	58	467	525	5.4%
計	1,734	7,795	9,529	100.0%	1,537	8,195	9,732	100.0%

## (3) 来院方法別時間外救急患者数

		平成23年度				平成24年度			
		入院	外来	計	構成比	入院	外来	計	構成比
初期救急 医療施設 から転送 (二次救急)	救急車	94	12	106	1.1%	65	35	100	1.0%
	その他	287	257	544	5.7%	218	304	522	5.4%
	計	381	269	650	6.8%	283	339	622	6.4%
その他 直接来院 (初期救急)	救急車	650	820	1,470	15.4%	507	839	1,346	13.8%
	その他	703	6,706	7,409	77.8%	747	7,017	7,764	79.8%
	計	1,353	7,526	8,879	93.2%	1,254	7,856	9,110	93.6%
計	救急車	744	832	1,576	16.5%	572	874	1,446	14.9%
	その他	990	6,963	7,953	83.5%	965	7,321	8,286	85.1%
	計	1,734	7,795	9,529	100.0%	1,537	8,195	9,732	100.0%



### 3. 手術件数

診療科	年度	平成22年度		平成23年度		平成24年度	
		件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
内科		2	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
精神科		77	1.9%	0	0.0%	16	0.4%
外科		470	11.4%	568	14.1%	558	14.2%
整形外科		604	14.7%	615	15.3%	644	16.5%
形成外科		522	12.7%	529	13.1%	521	13.3%
脳神経外科		200	4.9%	197	4.9%	153	3.9%
心臓血管外科		100	2.4%	89	2.2%	75	1.9%
大腸肛門科		262	6.4%	276	6.9%	250	6.4%
皮膚科		20	0.5%	15	0.4%	13	0.3%
泌尿器科		378	9.2%	333	8.3%	312	8.0%
産婦人科		298	7.3%	279	6.9%	252	6.5%
眼科		503	12.3%	497	12.3%	461	11.8%
耳鼻咽喉科		208	5.1%	187	4.6%	187	4.8%
歯科口腔外科		397	9.7%	395	9.8%	408	10.5%
麻酔・ペインクリニック		3	0.1%	3	0.1%	6	0.2%
その他		55	1.3%	45	1.1%	48	1.2%
計		4,099	100.0%	4,028	100.0%	3,904	100.0%

### 4. 分娩件数

月	年度	平成22年度		平成23年度		平成24年度	
		件数	異常分娩 (再掲)	件数	異常分娩 (再掲)	件数	異常分娩 (再掲)
4月		35	( 12 )	52	( 13 )	45	( 13 )
5月		31	( 9 )	35	( 9 )	33	( 13 )
6月		34	( 9 )	31	( 13 )	31	( 10 )
7月		48	( 17 )	41	( 7 )	24	( 7 )
8月		36	( 13 )	31	( 11 )	43	( 13 )
9月		42	( 13 )	45	( 17 )	32	( 5 )
10月		41	( 13 )	32	( 9 )	33	( 9 )
11月		49	( 20 )	38	( 17 )	32	( 10 )
12月		37	( 12 )	37	( 9 )	35	( 14 )
1月		25	( 5 )	28	( 9 )	32	( 9 )
2月		31	( 10 )	32	( 9 )	36	( 15 )
3月		34	( 14 )	37	( 13 )	43	( 19 )
計		443	( 147 )	439	( 136 )	419	( 137 )

## 5. 内視鏡検査件数

(単位：件)

種別	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
上部内視鏡		4,621	4,158	4,418	4,430	4,668
ERCP系		109	130	127	155	108
下部内視鏡		1,983	1,893	1,989	1,955	2,135
気管支鏡		6	8	3	14	5
計		6,719	6,189	6,537	6,554	6,916

※平成20年度より掲載項目を変更

(単位：件)

種別 (主要項目のみ掲載)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
上部消化管	GIF	4,294	3,873	4,088	4,106	4,496
	GIF + EUS	5	6	9	13	12
	GIF + EMR	2	3	1	2	2
	GIF + ポリペク	0	2	0	1	2
	EVL	11	7	5	4	2
	GIF + 食道ブジー	25	19	28	17	16
	GIF + IT	60	39	37	50	2
	異物・虫体除去	9	7	10	8	17
	上部止血法	36	20	15	25	53
生検	2,357	2,074	2,009	1,909	1,880	
下部消化管	SF	423	391	340	341	323
	TCF	1,501	1,370	1,596	1,566	1,616
	SF + EUS	0	0	0	1	1
	TCF(上行) + EU	0	0	0	1	1
	EUS	6	2	5	1	0
	EMR	236	216	229	303	290
	ポリペク	23	21	28	34	20
	ホットバイオプシ	497	532	527	515	485
	下部止血法	10	9	8	10	19
生検	952	881	936	989	845	
他透視あり	ERCP	109	130	127	155	107
	TBLB	0	1	1	5	1
	PTCS	0	0	0	0	0
	BF	0	0	0	4	3
	食道ステント	1	0	1	0	1
	EIS	0	0	0	0	0
	EPBD	2	1	2	2	1
	結石除去術	22	30	26	38	22
	ENBD	33	71	70	78	49
	胆管ステント	12	16	20	22	9
	EST	33	58	50	45	40
SF + 腸管ブジー	5	0	1	4	3	
他透視なし	BF	6	7	2	5	3
	PEG	57	60	58	45	35
術中内視鏡	GIF	2	3	4	5	6
	TCF(上行結腸)	13	10	9	8	4
	気管ステント	0	0	0	0	0
イレウス管	上部イレウス管	4	1	0	6	2
	下部イレウス管	0	2	1	2	3
緊急内視鏡	GIF	144	116	143	148	78
	SF	15	27	27	13	15
	TCF(下行・横行)	3	4	4	5	1
	TCF(上行結腸)	12	12	9	9	12
	BF	0	0	0	0	0
	EVL	9	1	2	0	2
	EIS	1	0	0	0	0
	食道ブジー	0	0	0	2	0
	上部イレウス管	0	2	1	0	1
	下部イレウス管	0	2	1	0	0
	異物・虫体除去	10	6	8	6	4
	上部止血法	55	40	45	42	41
下部止血法	11	13	7	15	12	

## 6. 人間ドック・健診等の状況

(単位：件)

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
	総件数	1か月平均	総件数	1か月平均	総件数	1か月平均	総件数	1か月平均
政府管掌	2,575	214.6	2,947	245.6	3,126	260.5	3,055	254.6
企業・その他	906	75.5	958	79.8	862	71.8	844	70.3
ミニドック	318	26.5	354	29.5	416	34.7	443	36.9
日帰りドック	369	30.8	423	35.3	403	33.6	396	33.0
1泊2日ドック	73	6.1	58	4.8	62	5.2	47	3.9
妊婦一般健診	2,552	212.6	2,519	209.9	2,465	205.4	2,480	206.7
乳児一般健診	292	24.3	303	25.3	307	25.6	292	24.3
前立腺がん検診	436	87.2/回	283	47.2/月	277	46.2/月	272	45.3/月
乳がん検診	540	45.0	320	26.7	318	26.5	327	27.3

※平成21年度より、妊婦一般健診の回数は、1回の妊娠につき5回から14回に改正

平成22年度前立腺がん検診の総件数は9月から2月までのもの

平成22年度から前立腺がん検診の1か月平均を一回当たりの人数から月当りの人数に変更  
(集団検診から個別検診への変更による)

## 7. ヘリコプターによる患者の搬送状況

(単位：件)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
受入件数	2	1	6	6

## 8. 薬剤科の業務状況

### (1) 調剤業務の状況

項目		年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
		入院	外来				
処方箋枚数	入院			54,561 枚	53,865 枚	55,795 枚	
	外来	院内			61,602	49,609	17,500
		院外			( 91,341 )	( 103,138 )	( 133,339 )
	院内計				116,163	103,474	73,295
調剤件数	入院			94,899 件	93,103 件	96,712 件	
	外来	院内			144,719	118,241	39,413
		院外			( 201,495 )	( 226,529 )	( 310,039 )
	院内計				239,618	211,344	136,125
調剤延剤数	入院			617,631 剤	588,959 剤	612,970 剤	
	外来	院内			3,106,395	2,580,400	500,502
		院外			( 5,125,605 )	( 5,681,711 )	( 8,005,627 )
	院内計				3,724,026	3,169,359	1,113,472

### (2) 製剤業務の状況

項目	年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
	品目数	製剤数量	品目数	製剤数量	品目数	製剤数量	品目数	製剤数量
外用液剤 (無菌製剤品目数 再掲)	20 ( 6 )	348.60 ㊦ ㊦	17 ( 5 )	220.40 ㊦ ㊦	12 ( 4 )	325.60 ㊦ ㊦		
吸入・点耳・点鼻液 (無菌製剤品目数 再掲)	3 ( 3 )	5.40 ㊦ ㊦	4 ( 4 )	5.60 ㊦ ㊦	3 ( 3 )	5.50 ㊦ ㊦		
点眼液 (無菌製剤品目数 再掲)	4 ( 4 )	3.40 ㊦ ㊦	5 ( 5 )	3.10 ㊦ ㊦	6 ( 6 )	2.60 ㊦ ㊦		
注射剤 (無菌製剤品目数 再掲)	6 ( 6 )	0.50 ㊦ ㊦	4 ( 4 )	0.50 ㊦ ㊦	4 ( 4 )	0.40 ㊦ ㊦		
軟膏剤 (無菌製剤品目数 再掲)	12 ( 0 )	64.30 kg	10 ( 0 )	46.30 kg	0 ( 0 )	0.00 kg		
坐剤 (無菌製剤品目数 再掲)	2 ( 0 )	840 個	2 ( 0 )	555 個	2 ( 0 )	5 個		
検査用内服カプセル (無菌製剤品目数 再掲)	1 ( 0 )	24 個	1 ( 0 )	32 個	3 ( 0 )	60 個		
処置用外用剤 (無菌製剤品目数 再掲)	2 ( 0 )	0.1 ㊦ 56 個	2 ( 0 )	0.21 ㊦ 98 個	2 ( 0 )	0.27 ㊦ 122 個		

### (3) 注射処方箋調剤業務の状況

項目	年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来
注射処方箋枚数	93,810	26,391	89,482	29,381	87,293	38,220		
注射処方件数	170,896	42,070	184,337	47,099	230,126	57,408		
注射処方箋薬品数	409,231	82,796	410,617	99,040	376,535	111,588		

**(4) 高カロリー輸液無菌調剤の状況**

項目 \ 年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
件数	792 件	854 件	427 件

**(5) 抗がん剤注射薬無菌調製の状況**

項目 \ 年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
外来	2,039 件	2,685 件	2,928 件
入院	797 件	1,020 件	862 件

**(6) TDM（薬物血中濃度測定）依頼の状況**

項目 \ 年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
件数	954 件	859 件	965 件

**(7) 薬剤管理指導業務の状況（請求件数）**

項目 \ 年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
件数	3,481 件	2,731 件	3,671 件

**(8) 治験の業務状況**

項目 \ 年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
治験契約・モニタリング等 病院請求金額	16,659,058 円	87,031,412 円	18,073,564 円
医事請求・患者負担分 軽減金額	6,901,430 円	2,000,820 円	4,688,475 円

治験：医師、薬剤師、看護師、臨床検査科、放射線技術科、医事課等病院全体として対応

## 9. 放射線技術科の業務状況

(単位：依頼書件数)

項目 \ 年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
一般撮影	52,150	53,748	52,999
(検診再掲)	(4,431)	(4,670)	(4,537)
乳房撮影	3,141	3,194	3,138
(検診再掲)	(1,403)	(1,442)	(1,358)
透視撮影	3,750	3,860	3,991
(検診再掲)	(2,455)	(2,432)	(2,314)
CT検査	18,825	18,701	18,868
超音波検査	8,738	8,633	8,387
血管造影	204	136	197
心カテ	243	150	211
MRI	5,518	5,269	5,540
放射線治療	2,454	3,236	2,824
密封小線源	2	6	5
R I	835	895	976
骨塩定量	788	767	855
パノラマ	877	916	1,110
総計	97,525	99,511	99,101

※平成22年度より超音波検査と密封小線源の項目を追加

## 10. 臨床検査科の業務状況

(単位：件)

区分	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
	入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計
一般検査	11,214	47,377	58,591	11,458	52,046	63,504	11,089	57,504	68,593
血液学的検査	46,960	128,969	175,929	53,020	131,844	184,864	51,882	146,911	198,793
臨床化学検査	279,760	864,528	1,144,288	296,910	877,246	1,174,156	311,402	1,007,240	1,318,642
血清学的検査	28,029	86,312	114,341	28,856	89,444	118,300	30,801	101,245	132,046
微生物学的検査	10,439	11,921	22,360	11,272	12,092	23,364	1,981	12,763	14,744
生理機能検査	3,578	37,026	40,604	3,868	35,336	39,204	4,412	42,371	46,783
院内検査 計	379,980	1,176,133	1,556,113	405,384	1,198,008	1,603,392	411,567	1,368,034	1,779,601

## 11. 病理科の業務状況

(単位：件)

区分	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
	院内	院外	計	院内	院外	計	院内	院外	計
組織診	5,413	259	5,672	5,202	274	5,476	5,181	308	5,489
迅速診断	110	0	110	110	0	110	94	0	94
細胞診	4,826	1,764	6,590	5,048	1,646	6,694	4,990	1,624	6,614
剖検	9	2	11	8	1	9	15	1	16
院内剖検率 ※	3.2%			2.8%			5.1%		

※ 院内剖検率 =  $\frac{\text{入院患者剖検数(死産・外来死亡・DOA※症例を除く)}}{\text{入院患者死亡数(同上)}}$

※ DOA(Dead on arrival)

## 12. 栄養科の業務状況

### (1) 給食延食数

区 分		平成22年度			平成23年度			平成24年度		
		延食数	1食あたり 平均	割合	延食数	1食あたり 平均	割合	延食数	1食あたり 平均	割合
一 般 食	常食	111,585	102		105,850	97		101,841	93	
	軟食	114,779	105		106,285	97		96,953	89	
	流動食	5,566	5		5,039	5		4,576	4	
一般食 合計		231,930	212	58.4%	217,174	198	58.5%	203,370	186	57.7%
特 別 加 算 食	腎疾患食	12,433	11		13,427	12		12,619	12	
	心疾患食	18,483	17		13,749	13		19,307	18	
	肝臓食	6,749	6		4,491	4		3,526	3	
	膵臓食	5,512	5		5,475	5		5,170	5	
	脂質異常症食	1,729	2		1,647	2		1,021	1	
	糖尿食	37,396	34		32,247	29		33,430	31	
	胃潰瘍食	5,604	5		3,724	3		5,356	5	
	貧血食	649	1		171	0		485	0	
	妊娠高血圧食	356	0		220	0		560	1	
	ヨード制限食	0	0		1	0		0	0	
	痛風食	140	0		148	0		38	0	
	脳障害高血圧	3,652	3		3,599	3		0	0	
	濃厚流動食	23,836	22		17,841	16		5,850	5	
特別食（加算食）合計		116,539	106	29.3%	96,740	88	26.1%	87,362	80	24.8%
非 加 算 食	高血圧食	10,629	10		10,798	10		11,124	10	
	エネルギー制限食	336	0		359	0		1,209	1	
	術後・検査・ミキサー	3,170	3		3,336	3		1,909	2	
	嚥下調整食	24,197	22		28,846	26		31,496	29	
	濃厚流動食							10,856	10	
	その他	7,816	7		11,282	10		2,331	2	
特別食（非加算食）合計		46,148	42	11.6%	54,621	50	14.7%	58,925	54	16.7%
その他（検食）		2,555	2	0.9%	2,562	2	0.9%	2,555	2	0.9%
合 計		397,172	363		371,097	339		352,212	322	



## (2) 栄養指導状況

### 個別指導

(単位：人)

	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
	入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計
糖尿病	229	51	280	214	107	321	334	156	490
糖尿病性腎症	10	4	14	9	3	12	5	15	20
腎臓病	22	8	30	29	10	39	41	8	49
高脂血症	4	5	9	7	1	8	9	19	28
高血圧	10	0	10	11	2	13	21	9	30
心臓病	135	0	135	127	2	129	218	1	219
膵臓病	8	0	8	11	0	11	2	0	2
胃・消化管術後	265	3	268	274	4	278	330	3	333
肝臓病	11	4	15	2	2	4	8	1	9
炎症性腸疾患	4	3	7	8	0	8	9	2	11
その他	20	4	24	28	10	38	24	21	45
計	718	82	800	720	141	861	1,001	235	1,236

### 集団指導

(単位：人)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
糖尿病教室	131	242	349
妊婦教室	-	-	-
計	131	242	349

### 13. 総合リハビリテーションセンターの業務状況

		平成22年度	平成23年度	平成24年度
理学療法	脳血管リハビリテーション	32,137 単位	27,962 単位	26,948 単位
	運動器リハビリテーション	22,928 単位	20,663 単位	21,025 単位
	心大血管リハビリテーション	2,596 単位	1,497 単位	2,289 単位
	がんリハビリテーション			116 単位
	合計	57,661 単位	50,122 単位	50,378 単位
作業療法	脳血管リハビリテーション	23,054 単位	22,300 単位	20,563 単位
	運動器リハビリテーション	3,706 単位	5,268 単位	3,962 単位
	がんリハビリテーション			112 単位
	合計	26,760 単位	27,568 単位	24,637 単位
言語療法	脳血管リハビリテーション	9,196 単位	8,328 単位	8,679 単位
呼吸療法	脳血管リハビリテーション	2,987 単位	2,707 単位	2,973 単位
	運動器リハビリテーション	230 単位	182 単位	310 単位
	呼吸器リハビリテーション	6,530 単位	7,418 単位	5,454 単位
	心大血管リハビリテーション			449 単位
	がんリハビリテーション			95 単位
	合計	9,747 単位	10,307 単位	9,281 単位

※平成24年度から一部項目を追加しました。

# 14. 臨床工学科の業務状況

(実施件数)

区		分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
手術機器・補助循環関連	術中自己血回収装置		31	34	32	29	
	PCPS	(ICU/救急室)	0	1	0	1	
		(心臓血管造影室)	1	0	1	0	
	IABP	(ICU)	0	1	0	0	
		(心臓血管造影室)	10	6	6	8	
	レーザー手術装置 (ホルミウム、YAG、炭酸ガス)		81	96	101	122	
	頭蓋内圧モニタリング装置		7	13	7	6	
	術中誘発電位測定 (ABR、MEP)		2	2	2	2	
ラジオ波焼灼装置		25	4	0	3		
心臓カテーテル検査・治療関連	心臓カテーテル検査		313	308	332	321	
	PTCA (ステント挿入を含む)		105	102	111	120	
	血管内超音波検査 (IVUS)		48	36	36	30	
血液浄化関連	血液透析		10094	11148	11157	11200	
	緊急透析 (ICU)		27	46	42	40	
	持続血液浄化	(施行回数)	11	7	17	7	
		(平均施行時間)	21時間	35.5時間	38.4時間	22.9時間	
	血漿交換 (プラズマアフェレーシスを含む)		24	16	18	8	
	血液吸着 (DHP)		5	2	5	6	
	血球成分除去		29	43	44	52	
	腹水処理 (腹水濃縮)		0	2	1	0	
末梢血幹細胞採取 (PBSC)		6	6	2	8		
ペースメーカ関連	ペースメーカ植込み (新規)		20	21	21	21	
	ペースメーカ植込み (交換)		14	18	36	22	
	体外式ペースメーカ		11	12	4	4	
	外来フォローアップ		329	354	309	322	
医療機器保守管理関連	人工呼吸器	(セットアップ)	168	154	166	174	
		(オーバーホール)	12	8	11	12	
	非侵襲的陽圧換気 (NIPV)		(セットアップ)	56	86	80	190
	輸液ポンプ	(使用後及び定期点検)	695	79	200	218	
		(修理・点検依頼)	50	33	23	48	
	シリンジポンプ (微量注入用)		56	31	53	35	
	シリンジポンプ (経腸栄養専用、疼痛管理専用)		24	14	32	19	
	除細動器 (AEDを含む)		40	12	20	18	
	生体情報モニタリング装置 (セントラル、ベッドサイド)		15	90	72	96	
	12誘導心電計		37	15	18	9	
	保育器 (閉鎖式タイプ)		39	119	105	128	
	分娩監視装置		12	12	22	21	
	全身麻酔器		96	54	54	54	
	鏡視下手術装置		84	62	62	62	
	IABP (大動脈内バルーンパンピング装置)		8	6	6	6	
PCPS (経皮の心肺補助装置)		4	2	2	2		

## 15. 輸血センターの業務状況

### (1) 輸血用血液の使用状況

項目		年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
赤血球濃厚液	準備件数		1,040	1,087	1,225	1,423
	使用単位数		2,073	2,676	2,946	3,250
新鮮凍結血漿	準備件数		47	64	59	24
	使用単位数		188	304	450	98
濃厚血小板	準備件数		222	262	328	337
	使用単位数		2,316	2,645	3,285	3,410
手術用赤血球濃厚液	準備単位C / 使用単位T		632/282	680/301	718/246	654/287
	C/T比		2.2	2.3	2.9	2.2
廃棄率（赤血球濃厚液）			8.7%	4.6%	3.0%	2.7%

### (2) 自己血輸血

項目		年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
自己血	準備件数		56	45	38	38
	採血件数		82	69	52	49
	使用単位数		137	117	101	96

### (3) アルブミン製剤

項目		年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
アルブミン製剤 使用単位数 (アルブミン3gを1単位)			4,272	3,230	2,529	2,417
アルブミン製剤 / 赤血球濃厚液 ※1			1.9	1.1	0.90	0.74
新鮮凍結血漿 / 赤血球濃厚液 ※1			0.1	0.1	0.15	0.03

(赤血球濃厚液 ※1) には自己血を計上

## 16. 東洋医学科の業務状況

(単位：件)

項目 \ 年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
はり	7,028	6,786	9,397	9,219
パルス針	(梅花鍼 4 を含む) 74	74	324	(梅花鍼 27 を含む) 202
皮内針	2,203	2,382	3,316	3,217
灸	6,002	6,271	8,936	9,048
温灸針(灸頭針)	3,392	3,825	5,305	5,265
耳針	213	182	214	198
温針器	215	49	176	81
計	19,127	19,569	27,668	27,230

## 17. 医療安全管理室の業務状況

医療安全管理室は、院内の安全管理の推進と安全な医療の提供に資することを目的として設置された。

医療安全管理室長、医療安全管理者、セカンドマネージャー、サブマネージャー、作業部会の委員、事務職員で構成されている。

医療安全管理者は、安全管理の組織横断的な活動を行う目的でリスクマネージャー（平成17年4月専任）から名称を変更し、平成24年度より配置（専任）している。

セカンドマネージャーには、医薬品の安全管理及び医療機器の安全管理として、専門知識を有する者を配置している。

サブマネージャーは各部門の所属長または職場を統括する者とし、医療安全管理者と連携をとりながら各部署の安全管理を担っている。

作業部会の任務は、教育研修部、広報部、巡回・点検部、マニュアル検討部、医療機器管理部の5つに分かれ、院内の日常安全活動を実施している。

医療安全管理室では、個人がヒヤリ・ハットした体験をインシデント・アクシデントレポート用紙に記載し報告することを促進している。収集したレポートは、事故防止における重要な情報源として活用している。事例の発生要因を分析し、対策を検討して現場の業務改善や院内のシステム改善を図るなどして職場へフィードバックしている。また、職員の安全に対する意識の向上や、安全に業務を遂行するために、全職員を対象に研修を行っている。

さらに、総合相談室の担当者との連携を図り医療安全対策に係る患者・家族の相談に適切に応じることができるよう支援している。

## 18. 総合相談室の業務状況

総合相談室は、当院を利用される方々の多様な意見や相談を総合的に受け付けることを目的に平成17年4月1日に設置された。

スタッフは室長、メディカルコーディネーター、保安員及び事務等で構成されている。

患者さんが納得かつ安心して診療を受けていただけるよう、患者さん及び院内スタッフ間の調整を行う役割を担っている。

また”入院説明”や”検査説明”などを通して、患者さん・ご家族のニーズを汲み取り、他職種と連携しながら、よりよい病院作りを目指している。

平成24年度においては、「宝石箱」と称する意見箱に134名（168件）のご意見が寄せられた。内訳として、待ち時間に関するものが11件、説明不足に関するものが6件、接遇・対応に関するものが25件、施設・環境に関するものが37件、診療・看護内容に関するものが51件、サービスに関するものが11件、その他27件であった。そのうちお褒めは49件であった。

このほか外来窓口からの直接相談及び電話相談55件、病棟からの相談18件、市長への手紙・電子メール・その他においては32件であった。また、皆様からいただいたご意見の集計を電子情報を通じ職員向けに発信し、啓発している。

さらに総合相談室連絡会を設置し、苦情・要望等の内容を共有するとともに有害な事象が発生した場合の改善策等を検討している。

これらの相談は正面玄関への公開掲示、電話や手紙での個別回答等の方法で回答するとともに、当院の医療サービスやスタッフの質の向上、設備環境改善へのあしがりとなっている。

一方“入院説明”“検査説明”は5,829件であった。外来診療の待ち時間短縮の一翼を担っているものである。

## 第5 中国黒龍江省医院と医学友好の概要

### 1. 訪日団名簿

昭和55年8月19日	～	9月7日		
団長	陸	忠	(黒龍江省衛生庁付庁長)	
副団長	李	仁	(黒龍江省医院院長)	他
一行6名	黒龍江省医院医学友好訪日団			
昭和56年3月28日	～	4月15日		
団長	刘	宗秀	(黒龍江省衛生庁付庁長)	
副団長	袁	宝嵐	(中国衛生部医務局病院管理处府処長)	
団員	郭	普远	(北京医院付病院)	
団員	葛	登洲	(黒龍江省衛生庁付庁長)	
一行4名	医療視察訪日団			
昭和56年3月31日	～	7月31日		
	林	文光	(黒龍江省医院検査部主任医師)	
	郑	述言	(黒龍江省医院外科副主任医師)	
	朱	亚琪	(黒龍江省医院内科副主任医師)	
	金	大煥	(哈尔滨市第四医院放射線科主治医師)	
一行4名	第1次研修団			
昭和56年4月15日	～	4月30日		
	谢	励	(黒龍江省衛生庁付庁長)	他
一行2名	全国自治体病院協議会訪日視察団			
昭和57年2月23日	～	3月9日		
	陸	忠	(黒龍江省衛生庁付庁長)	他
一行3名	全国自治体病院協議会訪日視察団			
昭和57年4月2日	～	4月11日		
	祝	志新	(北京水利職工医院院長)	
	聂	樹柏	(北京海定医院院長)	
一行2名	中華人民共和国北京市医療視察団			
昭和58年9月6日	～	9月15日		
団長	刁	文生	(黒龍江省衛生庁副庁長)	
顧問	刘	威	(黒龍江省对外友好協会副会長)	
副団長	葛	登洲	(黒龍江省医院院長)	他
一行7名	黒龍江省医学友好交流団(合意書調印式)			
昭和58年9月6日	～	12月3日		
団長	王	桂云	(黒龍江省医院主任医師)	
団員	刘	云兰	(黒龍江省医院主任医師)	
団員	黄	艳琢	(黒龍江省医院主管技師)	
団員	刘	領第	(黒龍江省医院看護師)	
団員	蔡	天金	(黒龍江省医院事務職員)	
一行5名	第2次研修団			

昭和58年10月12日

団長 阴 兆 峰 (黒龍江省牡丹江医学専科学校長) 他  
一行 5 名 牡丹江医学教育友好訪問団

昭和59年9月11日 ~ 9月20日

団長 王 志 (北京海淀区衛生局長) 他  
一行 5 名 医療視察訪問団

昭和59年9月21日 ~ 12月19日

団長 杨 熙 平 (黒龍江省医院外科主任医師)  
団員 王 世 良 (黒龍江省医院骨科主治医師)  
団員 贾 胜 大 (黒龍江省医院消化内科医師)  
団員 金 圣 粉 (黒龍江省医院放射線科技師)  
一行 4 名 第3次研修団

昭和59年10月29日 ~ 10月30日

団長 易 平 安 (黒龍江省医院精神防治院院長) 他  
一行 2 名 黒龍江省精神科医療視察団

昭和60年5月15日 ~ 5月17日

団長 关 纯 洁 (黒龍江省医院副院長)  
団員 吴 波 (黒龍江省医院院長公室主任)  
団員 王 桂 云 (黒龍江省医院普通外科主任)  
一行 3 名 黒龍江省医院医療視察団

昭和60年8月23日 ~ 7月30日

李 勇 夫 (黒龍江省哈尔滨医科大学助手)  
黒龍江省医学友好研修生

昭和60年10月15日

正 宗 一 (黒龍江省衛生庁副庁長)  
袁 宝 嵐 (黒龍江省衛生庁外事処長)  
一行 2 名 黒龍江省医学教育並びに公衆衛生状況視察団

昭和61年4月20日 ~ 4月21日

徐 廉 洁 (黒龍江省医院護理部主任)  
一行 3 名 黒龍江省護理学会訪日看護交流団

昭和61年5月19日 ~ 5月20日

冯 克 玉 (黒龍江省労働衛生職業病研究処処長) 他  
一行 3 名 黒龍江省労働衛生職業病研究所視察団

昭和61年5月25日 ~ 8月22日

団長 邵 晓 群 (黒龍江省医院院長助理)  
副団長 郇 淑 英 (黒龍江省医院医政弁公室主任)  
秘書 张 勤 (黒龍江省医院問診部付主任)  
赵 光 宇 (黒龍江省医院放射線科付主任)  
卢 萍 (黒龍江省医院内科医師)  
一行 5 名 第4次研修団



昭和61年11月16日

于 维 汉 (黒龍江省哈尔滨医科大学名誉学長)

昭和61年11月5日 ~ 11月6日

陆 忠 (黒龍江省衛生庁庁長)

郭 普 远 (北京市北京医院行政院長)

一行 2 名

昭和62年9月19日 ~ 12月17日

団 長 李 金 亭 (黒龍江省医院業務副院長)

副団長 王 恩 麒 (黒龍江省医院麻醉主治科医師)

団 員 彭 中 宣 (黒龍江省医院普通内科医師)

団 員 张 薇 (黒龍江省内分泌内科医師)

団 員 侯 茂 露 (黒龍江省護理部副主任)

一行 5 名 第 5 次研修団

昭和63年1月15日 ~ 1月22日

王 宗 一 (黒龍江省衛生庁庁長)

一行 5 名 黒龍江省医療視察団

昭和63年6月13日 ~ 12月6日

张 克 起 (黒龍江省医院循環器内科主治医師)

张 沛 怡 (黒龍江省医院消化器内科医師)

一行 2 名 第 6 次研修団

昭和63年7月12日 ~ 7月21日

団 長 刁 文 生 (黒龍江省衛生庁副庁長)

副団長 孙 桂 兰 (黒龍江省財政庁副庁長)

団 員 马 遂 良 (黒龍江省財政庁処長)

団 員 杨 淑 玉 (黒龍江省衛生庁処長)

団 員 江 波 昌 (黒龍江省人民政府処長)

一行 5 名 黒龍江省医療保険考察団

平成1年9月18日 ~ 12月16日

団 長 姜 定 齐 (黒龍江省医院神経内科主任医師)

副団長 于 鸣 风 (黒龍江省医院急症科主任医師)

団 員 李 桂 清 (黒龍江省医院産婦人科婦長)

一行 3 名 第 7 次研修団

平成1年10月1日 ~ 10月7日

団 員 宋 兆 琴 (黒龍江省衛生庁副庁長)

団 員 叶 灵 威 (黒龍江省衛生庁科教処処長)

団 員 谢 守 臣 (黒龍江省衛生庁外事処副処級研修員)

団 員 张 家 铭 (黒龍江省衛生学校校長)

一行 4 名 黒龍江省医学教育友好訪問団 (市制 3 5 周年)

平成1年10月1日 ~ 10月12日

団 長 李 金 亭 (黒龍江省医院院長)

副団長 邵 晓 群 (黒龍江省医院副院長)

一行 2 名 黒龍江省医学友好交流団 (合意書調印式)

- 平成2年10月10日 ～ 平成3年4月11日  
 団 長 金 成 浩 (黒龍江省医院放射線科医師)  
 団 員 王 晓 娥 (黒龍江省医院臨床薬剤師)  
 一行 2 名 第 8 次研修団
- 平成2年10月29日 ～ 11月7日  
 団 長 刁 文 生 (黒龍江省衛生庁副庁長)  
 団 員 李 洪 濤 (黒龍江省衛生庁弁公室主任)  
 団 員 袁 宝 嵐 (黒龍江省衛生庁外事處處長)  
 団 員 杨 建 国 (黒龍江省医院副院長)  
 団 員 于 治 洲 (黒龍江省医院副院長)  
 一行 5 名 黒龍江省医学友好交流10周年記念訪問団
- 平成3年9月6日 ～ 平成4年3月2日  
 王 天 智 (黒龍江省医院普通外科医師)  
 王 桂 贤 (黒龍江省医院内科医師)  
 一行 2 名 第 9 次研修団
- 平成4年6月10日 ～ 12月5日  
 王 相 (黒龍江省医院理療科主任医師) 8月帰国  
 王 廷 芳 (黒龍江省医院普通内科医師)  
 金 心 (黒龍江省医院普通小児科医師)  
 道 书 芝 (黒龍江省医院看護科婦長)  
 一行 4 名 第 1 0 次研修団
- 平成4年6月9日 ～ 平成5年3月  
 金 政 锡 (黒龍江省医院普通外科医師)
- 平成5年6月14日 ～ 12月14日  
 栾 桂 琴 (黒龍江省医院口腔内科主任医師)  
 杨 郁 斐 (黒龍江省医院普通内科医師)  
 贾 雨 虹 (黒龍江省医院眼科婦長)  
 一行 3 名 第 1 1 次研修団
- 平成5年9月20日 ～ 9月29日  
 李 金 亭 (黒龍江省衛生庁副庁長)  
 干 治 洲 (黒龍江省医院院長)  
 朱 长 发 (黒龍江省医院副院長)  
 袁 宝 嵐 (黒龍江省衛生庁外事處處長)  
 一行 4 名 黒龍江省医学友好交流団 (合意書調印式)
- 平成5年11月19日 ～ 平成6年2月10日  
 鄭 延 釗 (黒龍江省医院中医科部長副主任医師)  
 鍼灸指導
- 平成6年4月19日 ～ 4月25日  
 邵 晓 群 (黒龍江省医院副院長)  
 侯 成 重 (黒龍江省医院副院長)  
 一行 2 名 砺波市政40周年記念式典参加訪問団

平成6年6月9日	～ 12月9日	
	刘 长 波	(黒龍江省医院呼吸内科副主任醫師)
	陶 铸	(黒龍江省医院消化内科副主任醫師)
	关 卫	(黒龍江省医院救診内科醫師)
一行 3 名	第 1 2 次研修団	
平成7年6月1日	～ 11月30日	
	陈 美 琳	(黒龍江省医院腎臓内科副主任醫師)
	吕 伟	(黒龍江省医院整形外科副主任醫師)
	宋 效 鳳	(黒龍江省医院内科病棟看護婦)
一行 3 名	第 1 3 次研修団	
平成7年10月30日	～ 10月31日	
	宋 兆 琴	(黒龍江省衛生庁庁長)
	袁 宝 嵐	(黒龍江省衛生庁外事处处长)
	赵 秋 利	(黒龍江省衛生庁外事処通訳)
一行 3 名	中国黒龍江省衛生庁医療交流訪問団	
平成8年5月30日	～ 11月28日	
	伍 海 安	(黒龍江省医院循環内科副主任醫師)
	赵 福 芹	(黒龍江省医院外来薬局副主任)
	金 贞 玉	(黒龍江省医院救急部看護婦長)
一行 3 名	第 1 4 次研修団	
平成9年4月24日	～ 5月2日	
	干 治 洲	(黒龍江省医院院長)
	刘 振 起	(黒龍江省衛生庁事務室主任)
	陈 英	(黒龍江省医院副院長)
	冯 承 善	(黒龍江省医院臨床薬学部主任)
一行 4 名	黒龍江省医学友好交流団 (合意書調印式)	
平成9年6月5日	～ 12月4日	
	孙 海 宁	(黒龍江省医院焼傷科副主任醫師)
	韩 淑 芳	(黒龍江省医院理学診断部副主任醫師)
	黄 丽 华	(黒龍江省医院CCU科看護婦)
一行 3 名	第 1 5 次研修団	
平成10年6月29日	～ 12月25日	
	趙 国 民	(黒龍江省医院神経内科副主任醫師)
	楊 春 菊	(黒龍江省医院消化器内科副主任醫師)
	王 莉	(黒龍江省医院看護部副主任)
一行 3 名	第 1 6 次研修団	
平成11年7月19日	～ 平成12年1月10日	
	沈 英 举	(黒龍江省医院普通外科副主任醫師)
	王 萍	(黒龍江省医院内科副主任醫師)
	孫 紅 艳	(黒龍江省医院主管看護婦)
一行 3 名	第 1 7 次研修団	

- 平成12年6月2日 ～ 11月27日  
 谢 晓 滨 (黒龍江省医院内分泌科副主任醫師)  
 付 新 佳 (黒龍江省医院血液内科副主任醫師)  
 刘 英 坤 (黒龍江省医院特需内科看護婦長)  
 一行 3 名 第 1 8 次研修団
- 平成13年6月1日 ～ 11月28日  
 丁 月 明 (黒龍江省医院眼科副主任醫師)  
 王 敏 (黒龍江省医院皮膚科副主任醫師)  
 刘 英 (黒龍江省医院内科看護婦長)  
 一行 3 名 第 1 9 次研修団
- 平成13年9月28日 ～ 10月1日  
 金 连 弘 (黒龍江省衛生庁長)  
 董 滨 (黒龍江省衛生庁外事処副処長)  
 于 治 州 (黒龍江省医院長)  
 于 元 龙 (黒龍江省医院弁公室副主任)  
 汉 清 (黒龍江省医院眼科醫師)  
 一行 5 名 黒龍江省医学友好交流20周年記念訪問団
- 平成14年4月12日 ～ 4月15日  
 干 治 洲 (黒龍江省医院院長)  
 侯 成 重 (黒龍江省医院副院長)  
 張 沛 怡 (黒龍江省医院消化器内科主任醫師)  
 一行 3 名 黒龍江省医学友好交流団 (合意書調印式)
- 平成14年6月12日 ～ 12月6日  
 王 冬 梅 (黒龍江省医院実験診断部副主任醫師)  
 金 莉 (黒龍江省医院耳鼻咽喉科醫師)  
 梁 娥 (黒龍江省医院産科総看護婦長)  
 一行 3 名 第 2 0 次研修団
- 平成15年11月5日 ～ 平成16年10月8日  
 金 哲 秀 (黒龍江省医院心血管内科副主任醫師)  
 第 2 1 次研修団
- 平成16年8月30日 ～ 平成17年8月24日  
 (李 亜 君 平成17年2月研修期間終了し帰国)  
 邵 明 吉 (黒龍江省医院普通外科副主任醫師)  
 李 亜 君 (黒龍江省医院南崗分院点滴センター看護師長)  
 一行 2 名 第 2 2 次研修団
- 平成16年10月1日 ～ 10月7日  
 王 恩 海 (黒龍江省衛生庁副庁長)  
 陳 国 俊 (黒龍江省医院副院長)  
 邵 偉 (黒龍江省医院外事室通訳)  
 一行 3 名 市立砺波総合病院竣工式出席

- 平成17年7月10日 ～ 平成18年7月7日  
 ( 叢 輝 平成18年1月研修期間終了し帰国 )  
 李 均 輝 (黒龍江省医院脳神経外科副主任医師)  
 叢 輝 (黒龍江省医院腫瘍放射線治療センター看護師長)  
 一行 2 名 第23次研修団
- 平成18年3月3日 ～ 平成19年1月26日  
 王 岩 (黒龍江省医院整形外科副主任医師)  
 第24次研修団
- 平成18年4月9日 ～ 平成18年4月14日  
 李 宝 春 (黒龍江省医院院長)  
 刁 风 英 (黒龍江省医院副院長)  
 姜 福 君 (黒龍江省医院人事科長)  
 戚 秋 藤 (黒龍江省医院科教科長)  
 张 淑 凤 (黒龍江省医院看護部主任)  
 邵 伟 (黒龍江省医院院長事務室副主任)  
 一行 6 名 黒龍江省医院医学交流訪問団
- 平成18年8月11日 ～ 平成19年7月11日  
 ( 崔 秀 雲 平成19年1月研修期間終了し帰国 )  
 独 孤 龍 (黒龍江省医院皮膚性病科住院医師)  
 崔 秀 雲 (黒龍江省医院小児科ICU婦長)  
 一行 2 名 第25次研修団
- 平成19年4月16日 ～ 平成19年10月12日  
 李 秀 偉 (黒龍江省医院臨床検査部)  
 第26次研修団
- 平成19年11月5日 ～ 平成20年11月2日  
 ( 許 立 華 平成20年4月30日研修終了し帰国 )  
 王 立 (黒龍江省医院産婦人科医師)  
 許 立 華 (黒龍江省医院耳鼻咽喉科看護師長)  
 一行 2 名 第27次研修団
- 平成20年4月21日 ～ 平成20年4月27日  
 李 宝 春 (黒龍江省医院院長)  
 毛 树 义 (黒龍江省医院副院長)  
 邵 伟 (黒龍江省医院院長事務室主任)  
 陈 丽 (黒龍江省医院看護部副主任)  
 代 艳 萍 (黒龍江省医院神経内科主任)  
 一行 5 名 黒龍江省医学友好交流団 (合意書調印式)
- 平成20年9月1日 ～ 平成21年8月28日  
 商 晓 英 (黒龍江省医院リハビリ科主任医師)  
 第28次研修団

平成21年9月9日 ～ 平成22年8月25日

( 尤 麗 艳 平成22年3月3日研修終了し帰国 )

徐 显 章 (黒龍江省医院周圍血管病科副主任醫師)  
尤 麗 艳 (黒龍江省医院産科看護師長副主任看護師)

一行 2 名 第29次研修団

平成23年1月12日 ～ 平成23年4月13日

( 3.11東日本大震災の影響にて研修途中帰国 )

周 莉 莉 (黒龍江省医院婦人科副主任醫師)  
陳 艷 紅 (黒龍江省医院齒科看護師長)

一行 2 名 第30次研修団

平成23年8月10日 ～ 平成23年8月12日

毛 樹 义 (黒龍江省医院副院長)  
刁 風 英 (黒龍江省医院副院長)  
于 元 龍 (黒龍江省医院外事弁公室主任)

一行 3 名 調印準備訪問団

平成24年4月22日 ～ 平成24年4月28日

邢 濟 春 (黒龍江省衛生庁副庁長)  
杜 廣 洲 (黒龍江省医学会秘書長)  
王 兆 宏 (黒龍江省医院院長)  
于 元 龍 (黒龍江省医院外事弁公室主任)

一行 4 名 黒龍江省医学友好交流団

平成24年8月10日 ～ 平成25年2月6日

刘 楊 (黒龍江省医院老年呼吸器科醫師)  
姜 輝 (黒龍江省医院口腔科齒科醫師)  
冷 菲 菲 (黒龍江省医院看護教育担当看護師)

一行 3 名 第31次研修団

この期間中の訪日団

65 団 一行延べ 201 名

## 2. 訪中団名簿

昭和55年5月5日	～ 5月29日		
団 長	岡 田 成	外科医長 (医局長)	
副団長	平 沢 昭 三	事務局長	他
一行 6 名	砺波市医学友好訪中団		
昭和55年10月24日	～ 11月7日		
団 長	川 辺 俊 雄	砺波市長	
副団長	小 林 長	院長	他
一行 7 名	砺波市医学友好訪中団		
昭和56年6月1日	～ 6月16日		
顧 問	永 森 文 夫	参与	
団 長	角 田 清 志	放射線科医長	他
一行 7 名	市立砺波総合病院第 1 次医学友好訪中団		
昭和56年8月13日	～ 8月21日		
	小 林 長	院長	他
一行 2 名	(社) 全国自治体病院協議会主催訪中団医療施設視察団		
昭和56年9月22日	～ 10月6日		
団 長	長谷田 泰 男	形成外科医長	他
一行 4 名	市立砺波総合病院第 2 次医学友好訪中団		
昭和57年5月24日	～ 6月5日		
団 長	荒 川 龍 夫	胃腸科医長、麻酔科医長	他
一行 5 名	市立砺波総合病院第 3 次医学友好訪中団		
昭和57年9月7日	～ 9月20日		
団 長	新 谷 寿 久	外科医長	他
一行 5 名	市立砺波総合病院第 4 次医学友好訪中団		
昭和58年5月24日	～ 6月3日		
団 長	小 林 長	院長	他
一行 3 名	市立砺波総合病院医学友好訪中団		
昭和58年8月23日	～ 9月6日		
団 長	大 橋 雅 広	脳神経外科医長	
副団長	浅 山 邦 夫	内科医長	他
一行 7 名	市立砺波総合病院第 5 次医学友好訪中団		
昭和59年8月26日	～ 9月9日		
団 長	亀 井 康 二	形成外科医長	他
一行 7 名	市立砺波総合病院第 6 次医学友好訪中団		
昭和60年5月26日	～ 6月9日		
団 長	高 田 信 男	精神神経科医長	
副団長	井 上 久美子	皮膚科医長	他
一行 8 名	市立砺波総合病院第 7 次医学友好訪中団		
昭和61年8月25日	～ 9月8日		
団 長	生 垣 正	麻酔科医長	
副団長	嶋 大二郎	小児科医長	他
一行 7 名	市立砺波総合病院第 8 次医学友好訪中団		

昭和62年5月3日 団 長 副団長 一行 7 名	～ 5月11日 岡 部 昇 栄 砺波市長 小 林 長 院長 砺波市友好訪中団 (合意書調印式)	他
昭和62年9月1日 団 長 副団長 一行 7 名	～ 9月15日 北 野 喜 行 整形外科部長 山 本 正 和 内科医長 市立砺波総合病院第 9 次医学友好訪中団	他
昭和63年8月24日 団 長 副団長 一行 6 名	～ 9月10日 小 杉 光 世 外科部長 角 田 清 志 放射線科部長心得 市立砺波総合病院第 1 0 次医学友好訪中団	他
昭和63年10月21日	～ 11月4日 小 林 長 院長 中日友誼病院完成記念式典出席	
平成1年8月30日 団 長 副団長 一行 7 名	～ 9月12日 金 井 正 信 内科医長 金 井 英 子 小児科医長 市立砺波総合病院第 1 1 次医学友好訪中団	他
平成2年5月2日 団 長 副団長 副団長 一行 7 名	～ 5月10日 小 林 長 院長 高 田 信 男 精神神経科部長 浅 山 邦 夫 内科部長 市立砺波総合病院医学友好交流 1 0 周年記念訪中団	他
平成2年8月31日 団 長 副団長 一行 7 名	～ 9月14日 杉 本 立 甫 内科部長 山 下 良 平 外科医長 市立砺波総合病院第 1 2 次医学友好訪中団	他
平成3年9月1日	～ 9月15日 荒 川 龍 夫 副院長 市立砺波総合病院医学友好調印訪中団	
平成3年9月1日 団 長 副団長 一行 7 名	～ 9月15日 三 崎 俊 光 泌尿器科部長 清 原 薫 外科部長心得 市立砺波総合病院第 1 3 次医学友好訪中団	他
平成4年9月7日 団 長 副団長 一行 8 名	～ 9月21日 横 川 明 男 整形外科部長心得 中 島 久 幸 外科部長心得 市立砺波総合病院第 1 4 次医学友好訪中団	他
平成5年8月29日 団 長 副団長 一行 7 名	～ 9月13日 中 島 慎 一 泌尿器科部長心得 網 谷 茂 樹 内科医長 市立砺波総合病院第 1 5 次医学友好訪中団	他



平成6年8月19日 団 長 副団長 一行 7 名	～ 9月3日 遠 山 芳 子 麻酔科部長心得 伊 東 正太郎 脳神経外科部長心得 市立砺波総合病院第 1 6 次医学友好訪中団	他
平成7年8月27日  一行 4 名	～ 9月3日 小 林 長 名誉院長 荒 川 龍 夫 院長 亀 井 康 二 形成外科部長 (医局長) 河 原 信 子 看護科総婦長 市立砺波総合病院医学友好交流 1 5 周年記念訪中団	
平成7年8月25日 団 長 副団長 一行 7 名	～ 9月9日 酒 徳 光 明 外科部長心得 坂 下 泰 雄 内科医長 市立砺波総合病院第 1 7 次医学友好訪中団	他
平成8年8月23日 団 長 副団長 一行 7 名	～ 9月7日 津 留 明 彦 産婦人科部長心得 大 田 妙 子 眼科医長心得 市立砺波総合病院第 1 8 次医学友好訪中団	他
平成9年8月22日 団 長 副団長 一行 7 名	～ 9月5日 杉 本 祐 司 麻酔科部長心得 奥 田 泰 生 歯科口腔外科医長 市立砺波総合病院第 1 9 次医学友好訪中団	他
平成9年9月13日	～ 9月26日 網 谷 茂 樹 内科部長心得 中国医学友好技術交流	
平成10年6月28日  一行 2 名	～ 7月3日 荒 川 龍 夫 院長 小 林 長 名誉院長 黒龍江省中日友誼病院創立 1 0 周年記念式典出席	
平成10年8月21日 団 長 副団長 一行 7 名	～ 9月4日 片 田 正 一 救急外来科医長 又 野 禎 也 内科医長 市立砺波総合病院第 2 0 次医学友好訪中団 (哈爾濱大洪水の為、黒龍江省医院に到着できず)	他
平成10年10月26日	～ 11月10日 網 谷 茂 樹 内科部長 中国医学友好技術交流	
平成11年8月22日 団 長 副団長 一行 7 名	～ 9月5日 家 接 健 一 外科医長 山 本 環 耳鼻咽喉科医長 市立砺波総合病院第 2 1 次医学友好訪中団	他
平成11年8月22日  一行 3 名	～ 8月27日 北 野 喜 行 院長 石 崎 志津子 看護部総婦長 津 田 俊 祐 事務局長 市立砺波総合病院医学友好合意書改定調印団	

平成11年10月4日	～ 10月16日	網谷茂樹 内科部長 中国医学友好技術交流	
平成12年8月20日	～ 9月3日	堀本孝士 整形外科部長 木下寛也 精神神経科医員 市立砺波総合病院第22次医学友好訪中団	他
平成13年8月26日	～ 9月5日	北野喜行 院長 伴登宏行 外科部長 市立砺波総合病院第23次医学友好訪中団	他
平成13年8月25日	～ 9月1日	砺波市議会黒龍江省医院友好20周年記念行政視察団	
平成13年12月5日	～ 12月12日	網谷茂樹 循環器科部長 中国医学友好技術交流	
平成14年8月25日	～ 9月4日	太田英樹 内科部長 島田正広 事務局次長 市立砺波総合病院第24次医学友好訪中団	他
平成15年9月2日	～ 9月5日	小杉光世 院長 中田実 事務局総務課庶務係長 中国医学友好打合せ	
平成16年8月29日	～ 9月8日	伏木弘 産婦人科部長 市立砺波総合病院第25次医学友好訪中団	他
平成17年8月23日	～ 8月31日	小杉光世 院長 伊藤恒子 副院長 仁木芳行 事務局次長 市立砺波総合病院医学友好合意書改定調印団	
平成17年8月23日	～ 9月2日	田畑敏 外科医長 市立砺波総合病院第26次医学友好訪中団	他
平成18年8月22日	～ 9月1日	影近謙治 リハビリテーション科部長 市立砺波総合病院第27次医学友好訪中団	他
平成19年8月28日	～ 9月7日	高木泰孝 整形外科部長 市立砺波総合病院第28次医学友好訪中団	他
平成20年9月1日	～ 9月11日	由良晋也 歯科口腔外科部長 市立砺波総合病院第29次医学友好訪中団	他

平成21年9月15日 団 長 一行 4 名	～ 9月24日 浅 山 邦 夫 地域医療部長 市立砺波総合病院第30次医学友好訪中団	他
平成22年10月11日 団 長 一行 4 名	～ 10月20日 野 島 俊 二 産婦人科部長 市立砺波総合病院第31次医学友好訪中団	他
平成23年8月30日    一行 5 名	～ 9月4日 杉 本 立 甫 院長 角 田 清 志 副院長 伊 東 正太郎 副院長 松 原 直 美 看護部長 竹 林 秀 明 事務局次長 市立砺波総合病院医学友好合意書改定調印団	
平成23年8月30日 団 長 一行 4 名	～ 9月9日 小 杉 郁 子 心臓血管外科部長 市立砺波総合病院第32次医学友好訪中団	他
平成24年8月26日   一行 2 名	～ 8月31日 坪 本 真 臨床研修科 永 森 耕 治 事務局長 初期研修医海外研修派遣	
平成24年8月26日 団 長 一行 4 名	～ 9月4日 金 田 学 精神科部長 市立砺波総合病院第33次医学友好訪中団	他
これまでの訪中団 51 団	一行延べ 256 名	

## 第6 病院創立記念日記念講演一覧

平成2年4月12日 (木)	「地域医療の中の病院の新しい役割」 聖路加看護大学長	日野原 重 明 氏
平成3年4月12日 (金)	「医療法の改正とこれからの病院」 日本大学医学部附属病院管理学教室助教授	大 道 久 氏
平成4年4月7日 (火)	「長寿社会と地域包括システム」 ～保健・医療・福祉の連携と病院の役割～ 公立みつぎ総合病院長	山 口 昇 氏
平成5年4月13日 (火)	「医療をめぐる諸問題」 日本医科大学医療管理学教授	岩 崎 榮 氏
平成6年4月12日 (火)	「組織における看護サービス」 聖路加国際病院副院長	井 部 俊 子 氏
平成7年4月12日 (水)	「21世紀に向けた病院像をめぐって」 前東北大学工学部教授	松 本 啓 俊 氏
平成8年4月12日 (金)	「これからの医療界と病院経営のゆくえ」 厚生省国立医療・病院管理研究所 医療経済研究部主任研究官	川 淵 孝 一 氏
平成9年4月11日 (金)	「癒しの環境」 日本医科大学医療管理学教室助教授	高 柳 和 江 氏
病院創立50周年記念行事 記念講演		
平成10年4月18日 (土)	「地域に開かれた医療」 ～医療がやさしさをとりもどすとき～ 諏訪中央病院長	鎌 田 實 氏
平成11年4月12日 (月)	「私の病院経営」 福井県済生会病院長	藤 澤 正 清 氏
平成12年4月7日 (金)	「EBMの実践」 ・クリティカルパスに続くEBM ・これからの医療に必須のEBM ・EBMとは何でしょうか？ 京都大学大学院医学研究科臨床疫学教授	福 井 次 矢 氏
医療の安全フォーラム		
平成13年4月9日 (月)	「医療における安全の考え方」 国際基督教大学教授	村 上 陽 一 郎 氏
市民公開講座		
平成14年4月13日 (土)	「医療の質向上についての考え方」 東北大学大学院医学系研究科国際保健学分野教授	上 原 鳴 夫 氏
市民公開講座		
平成15年4月12日 (土)	「生命輝かそう市立砺波総合病院」 －自治体病院の今後の進路－ 赤穂市民病院長	邊 見 公 雄 氏
平成16年4月9日 (金)	「コックピットから学ぶ事故防止」 株式会社TAS創研代表取締役	斎 藤 貞 雄 氏
平成17年4月8日 (金)	「自分の可能性を求めて」 パラリンピック3大会 競泳女子金メダリスト	成 田 真 由 美 選 手

平成18年4月15日	(土)	「患者中心ということ」	聖路加看護大学長	井部俊子氏
平成19年4月12日	(木)	「地域における三豊総合病院の役割と課題」 三豊総合病院 保健医療福祉管理者		廣畑衛氏
平成20年4月10日	(木)	「地域とともに創る医療」	佐久総合病院院長	夏川周介氏
平成21年4月14日	(火)	「その時の出逢いが ～父 相田みつを を語る～」 相田みつを美術館長		相田一人氏
平成22年5月14日	(金)	「院内医療メディエーション -日常診療から医療紛争まで-」 愛知県厚生連安城更生病院 医療安全部長兼神経内科部長		安藤哲朗氏
シンポジウム 平成23年4月16日	(土)	「地域医療再生への処方箋」	城西大学経営学部教授	伊関友伸氏
平成24年4月23日	(月)	「中国の医療制度について」	中国黒龍江省医院院長	王兆宏氏

# 第7 主要施設の概要

## 1. 施設の概要

(1) 敷地面積	48,867 m <sup>2</sup>		
(2) 建物延床面積	49,216 m <sup>2</sup>		
管理棟	RC造地下1階・地上5階建	3,863 m <sup>2</sup>	
北棟	RC造地下1階・地上6階建	6,939 m <sup>2</sup> (健康センター含む)	
外来棟	RC造3階建	2,856 m <sup>2</sup>	
南棟	RC造3階建	3,341 m <sup>2</sup>	
電算棟	RC造2階建	382 m <sup>2</sup>	
西棟・東棟 (免震)	RC造地下1階・地上8階建	29,569 m <sup>2</sup>	
その他附属棟		2,266 m <sup>2</sup>	
(3) 主要設備			
電気設備			
受電電圧	3φ6.6KV.	契約電力	1,840 kW
自家発電設備			
発電設備	3φ6.6KV.	170 KW. × 7台	空冷式ディーゼル
非常用発電設備	3φ6.6KV.	750 KVA. × 1台	ガスタービン
	3φ6.6KV.	250 KVA. × 1台	ガスタービン
	3φ210V.	200 KVA. × 1台	ガスタービン
無停電電源装置	1φ2W100V.	200 KVA.	
	1φ3W200/100V.	30 KVA.	
蓄電池設備	1φ2W100V.	800 AH.	
ガス設備			
LPGバルク供給設備	980 kg		
給排水衛生設備			
受水槽	290 t (180 t・110 t)		
	検査系排水処理設備、感染系排水処理設備、ボイラーブロー排水処理設備		
医療ガス設備			
液化酸素	貯蔵能力	9,635 kg	
液化窒素	貯蔵能力	3,564 kg	
	人工空気製造装置		
空調設備			
チラーユニット	4基	水熱源ヒートポンプユニット	
吸収式冷温水発生機	8基	空冷ヒートポンプエアコン	
貫流ボイラー	6缶	水冷パッケージエアコン	
無圧缶水温水ボイラー	2缶	ダクト方式及びファンコイル	
昇降設備	乗用6台、寝台用8台、非常用1台、配膳用1台、小荷物専用3台 エスカレーター2基		
非公共用ヘリポート			
場所	病院屋上		
着陸帯	21 m × 17 m		
着陸可能回転翼航空機	全長17.5 m以下、全幅14.17 m以下 最大離陸重量5.5 t以下		
	航空灯火施設、泡消火設備		

## 2. 医療器械の整備状況

(1件1000万円以上の医療器械を掲載.平成7年以降)

整備年月日	固定資産名	構造・型式	製造者
平成25年03月	生体情報モニタシステム	CNS-6201 ほか	日本光電
平成25年03月	生化学検査システム	Labospect008 ほか	日立ハイテック
平成25年02月	眼科用レーザー光凝固装置	MC-500	ニテック
平成25年01月	F P D 撮影装置	CALNEO-C 17X17 ほか	富士フイルムメディカル(株)
平成24年03月	超伝導磁石式全身用MR装置	SignaHDxt1.5t OptimaEdition	GEヘルスケア・ジャパン(株)
平成24年03月	低温プラズマ滅菌器	ステラット100S	ジョンソン・エント・ジョンソン
平成24年01月	関節鏡システム	1288-010-001 ほか	日本ストライカー
平成24年01月	泌尿器科内視鏡システム	OTV-S190 ほか	オリンパスメディカルシステムズ(株)
平成24年01月	循環器用X線透視診断装置	BRANSIST safireHF9	(株)島津製作所
平成21年12月	全身用X線CT装置	Light Speed VCT VISION	GEヘルスケア・ジャパン(株)
平成20年07月	大腸拡大内視鏡システム	CF-H260AZI ほか	オリンパスメディカルシステムズ(株)
平成20年03月	泌尿器用X線診断装置	UROSKOP Access	シーメンス旭メディテック(株)
平成19年12月	デジタル超音波診断装置(腹部用)	HI VISION 900	(株)日立メディコ
平成19年03月	手術用顕微鏡システム	M525 F40	ライカ マイクロシステムズ
平成19年03月	手術用顕微鏡システム	OPMI Vario	カールツァイス
平成18年06月	MR I 機能向上システム	Signa EXCITEHD	ジーイー横河メディカルシステム(株)
平成17年03月	多用途筋機能評価訓練装置	BDX-3 ほか	酒井医療
平成17年03月	循環器用超音波診断装置	SONOS-7500 ほか	フィリップスメディカルシステムズ社
平成17年03月	眼科診療支援システム	NAVIS ほか	ニテック
平成16年10月	血管内超音波診断装置	GALAXY2	ホストサイエンティフィック社
平成16年03月	マルチカラーレーザー光凝固装置	ノーバスパリア	ルミナス
平成16年03月	内視鏡業務支援システム	Solemio ENDO	オリンパス光学工業
平成16年02月	全自動細胞解析装置	Cytomics FC500	ベックマンコールター
平成15年06月	電動昇降式L型解剖台	KA-ASL-BZ	(株)加藤萬製作所
平成15年06月	医療廃棄物滅菌処理装置	STR-1415-S-F/SP	(株)ウドノ医機
平成15年06月	全自動輸血検査システム	オートオートビュー	ダイアグノスティックス(株)
平成15年03月	放射線治療システム(直線加速装置)ほか	MHCL-15DP ほか	三菱電機(株)ほか
平成14年11月	超音波白内障手術装置	20000レカシー	アルコン
平成14年05月	ガンカメラ	E. CAM	シーメンス
平成14年03月	電子内視鏡システム	EVIS240	オリンパス光学工業
平成14年03月	総合肺機能検査システム	CHESTAC-33DN	チェスト(株)
平成14年03月	心筋立体画像表示装置	FM-4000-51	ジョンソン・エント・ジョンソン
平成13年03月	自動洗浄除染乾燥装置	WD/840CS	HAMO
平成13年03月	自動洗浄除染乾燥装置	WD/T-21CS	HAMO
平成13年03月	CR装置(画像読取装置)	FCR-5501D ほか	富士メディカルシステム
平成13年03月	MR検査装置	SIGNA MR/i EchoSpeed1.5T	ジーイー横河メディカルシステム(株)
平成13年03月	全身用X線CT装置	SONATOM PLUS4Volume Zoom	シーメンス
平成13年03月	血管撮影X線診断装置	advantX	GE
平成13年03月	X線透視撮影装置	Winscope6000	東芝メディカル
平成13年03月	低温プラズマ滅菌システム	ステラット200ダブルトア	J&J
平成13年03月	カート洗浄機	ES3-387型	トイフ クラインディーンスト
平成13年03月	手術顕微鏡装置	OPMI VISU200	カールツァイス
平成13年03月	体外衝撃波結石破碎装置	LITHOSTER Multiline	シーメンス
平成13年03月	MR検査装置	SIGNA Profile/i	GE
平成13年03月	生化学自動分析装置	7600シリーズ 7600-110	日立
平成13年03月	多要素心電図解析記録装置	EPワークメイト WM-20-562	EPメドシステム

整備年月日	固定資産名	構造・型式	製造者
平成11年10月	全自動尿分析システム	UF-100	東亜医用電子(株)
平成11年09月	血管連続撮影装置(循環器用)	インテグリスH5000F	フィリップスメディカル
平成11年03月	大動脈内バルーンポンプ	コラトBP-1-V	アイシン精機
平成10年12月	全自動細菌検査システム	WALKAWAY96 ほかに	デイトベールリンク
平成10年02月	腹腔鏡下手術装置	SR-0303D	ストラッカー
平成09年12月	X線TV装置	MAX-1000A DDX-1000A	東芝メディカル
平成09年11月	二方向X線照射装置	MBR-1520A-TW	日立メディコ
平成09年03月	全自動血球計算装置	ジエネス-SM	コーター
平成09年02月	CTシミュレーター装置	CTS-20SP	島津製作所
平成08年10月	手術顕微鏡	OMPI-CS	カルツァイス
平成08年09月	高圧蒸気滅菌装置	ΣR-009W	(株)千代田製作所
平成08年02月	手術用顕微鏡	OPMI-CS-NC	カルツァイス
平成08年02月	全自動錠剤分包機	4001SR	トシヨウ
平成08年02月	生化学自動分析装置	7170	日立
平成07年03月	電子内視鏡システム	EVIS-230	オリンパス
平成07年02月	超音波診断装置	HP SONOS2000	YHP
平成07年01月	全自動血液ガス分析装置	850COT	チバコーニング
平成07年01月	全自動血液凝固測定装置	コアグレックス700	国際試薬
平成07年01月	乳房X線撮影装置	セノグラフDMR	横河メディカル

平成25年3月末現在





市立砺波総合病院  
〒939-1395 富山県砺波市新富町1番61号  
TEL(0763)32-3320(代表) FAX(0763)33-1487(総務課)  
<http://www.city.tonami.toyama.jp/tgh/>